TOSHIBA

東芝デジタルスチルカメラ取扱説明書

形名 PDR-M700
形名 PDR-M500

東芝デジタルスチルカメラAllegretto M700(PDR-M700)、Allegretto M500(PDR-M500)を安全に、正しく使っていただくために、ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後はいつも手元においてご使用ください。

Allegretto M700
Allegretto M500

本製品はExif Printに対応しています。

本製品はPRINT Image Matching Ⅱに対応しています。PRINT Image Matching Ⅱ対応プリンタでの出力及び対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

はじめに

ご使用の前に
付属品
安全上のご注意
もくじ
カメラの取扱いについて
電池について
AC アダプターについて
付属の SD メモリーカードについて

ご使用の前に

このたびは東芝デジタルスチルカメラをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのデジタルスチルカメラを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
意匠、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Macintosh、Mac OSは、Apple computer, Inc.の商標です。
- ACDSee は、ACD Systems 社の商標です。
- SD ロゴは商標です。
- MultiMediaCard は、独 Infineon Technologies AG の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

著作権についてのご注意

デジタルスチルカメラで記録したものは、個人として楽しむことなどを除いては、著作権法上、権利者に無断で使用、開示、頒布または展示などをすることはできません。
なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルが記録されたメモリーカード（SDメモリーカードなど）の転送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

用語について

- Windows 98
  Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を示します。
- Windows 2000
  Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版を示します。
- Windows Me
  Microsoft® Windows® Me operating system 日本語版を示します。
- Windows XP
  Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を示します。

付属品

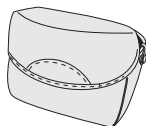
以下の付属品がはいっていることをご確認ください。不足や品違い、破損などがあった場合は、販売店にご連絡ください。

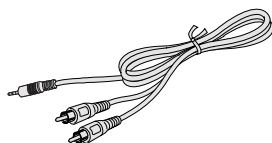
単三アルカリ乾電池（4 本）

SD メモリーカード

レンズキャップ

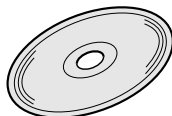
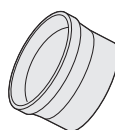
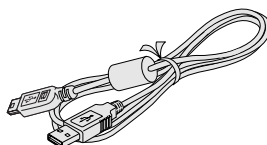
ショルダーストラップ

カメラケース

リモコン

AV ケーブル

アダプターリング

ソフトウェア CD-ROM（1 枚）
　ソフトウェアアプリケーション
　USB ドライバ（Windows 98 用）

USB ケーブル

●保証書
●取扱説明書（本書）
●ユーザー登録カード

別売品
● AC アダプター（PDR-AC20）
●指向性マイクロホン（EMV-D1）

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の説明

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震、火災、雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

ご使用になるとき

⚠警告

異臭・発煙・過熱などの異常が発生したときは、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。電池も高温になっていることがありますので、やけどにご注意ください。
修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

異物や水などが機器の内部にはいったときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜け

機器を落としたり、ケースを破損したときは電源を切り、電池や AC アダプターを取りはずすこと

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

電源プラグをコンセントから抜け

金属類や燃えやすいものなど異物を内部に入れないこと

火災・感電の原因となります。電池 / カードカバーや端子、その他の穴や隙間に、異物を入れたり落とし込んだりしないでください。

禁　止

水がかかる場所で使用しないこと

火災・感電の原因となります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。

禁　止

分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

雷が鳴りだしたら電源配線・テレビ配線に触れないこと

感電の原因となります。

接触禁止

歩行中、自動車・オートバイなどを運転中に使用しないこと

転倒・交通事故の原因となります。

禁　止

⚠注意

航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと

航空管制上、使用が制限される場合があります。

指　示

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

車の中など温度が高くなる場所に放置しないこと

ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁　止

付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーなどで再生しないこと

ヘッドフォンやスピーカーを破損したり、耳をいためたりするおそれがあります。

禁　止

安全上のご注意（つづき）

⚠注意 －つづき－

落としたり、強い衝撃を与えないこと

火災・感電・故障の原因となることがあります。

禁止

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと

コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

指示

布や布団の上に置いたり、覆ったりしないこと

熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

禁止

持ち運ぶときに振り回さないこと

ストラップを持ってカメラをぶらぶらさせると、人やものにぶつけたりしてけが・故障の原因となることがあります。

禁止

お手入れするときは、電池やACアダプターをはずすこと

取り付けたまま行うと、感電の原因となることがあります。

指示

ファインダーを通して太陽を見ないこと

目を痛める原因となることがあります。

禁止

目の近くでフラッシュを発光させないこと

一時的な視力障害の原因となることがあります。

禁止

液晶モニターに衝撃を与えないこと

破損したり、ガラスが割れたり内部の液がでてくることがあります。内部の液が目にはいったり、体や衣服についたときはきれいな水で洗い流してください。目にはいった場合は、その後医師の治療を受けてください。

禁止

2年に1度くらいは内部の掃除を販売店に相談すること

機器の内部にほこりがたまると、火災・故障の原因となることがあります。掃除費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

指示

ACアダプター（別売品）について

⚠警告

ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指示

ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。

分解禁止

ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因となります。

指示

通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

火災・故障の原因となることがあります。

禁止

ACアダプターのコードは

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**

- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

火災・感電の原因となります。

禁止

⚠注意

ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

指定のACアダプターを使用すること

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

ACアダプターをカメラ以外の他の用途に使用しないこと

カメラ以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

ACアダプターの電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

電池について

⚠危険

電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

電池をハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないこと

破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

電池は指定された用途にだけ使用すること

指定以外の用途に使用すると、電池の破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

⚠警告

指定された電池を使用すること

指定以外の電池を使用すると、火災・故障・誤動作の原因となります。

電池は幼児の手の届く場所に置かないこと

電池をお子さまが飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

電池の電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

電極がショートすると、発熱・破裂・発火させる原因となります。

⚠注意

付属の電池は充電しないこと

液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。

禁　止

電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った電池は入れておかないこと

液もれ・破裂などにより、やけど・けが・故障の原因となることがあります。

禁　止

電池交換時は、４つの電池全てを新しいものと交換すること

電池の破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災、やけど・けが、またはカメラの損傷などの原因となることがあります。
新しい電池とは、ニッケル水素の場合は「最近同時に充電した電池」を意味します。

指　示

タイプの異なる電池または古い電池と新しい電池を一緒に使用しないこと

電池の破裂、発火、温度上昇などが発生し、火災、やけど・けが、またはカメラの損傷などの原因となることがあります。

禁　止

長時間カメラを使用した直後に電池を取り出さないこと

電池が熱くなっているため、やけどの原因となるおそれがあります。

禁　止

長期間使用しないときは電池をはずすこと

火災の原因となることがあります。

指　示

電池の極性表示（＋と－の向き）に注意し、正しく入れること

入れ方を間違えると、破裂や液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指　示

使用済みの電池は電極カバーをつける、またはプラス（＋）とマイナス（－）にテープをはるなどして保管、廃棄すること

そのまま保管、廃棄すると金属類でのショートにより、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

指　示

ショルダーストラップについて

警告

ショルダーストラップは、幼児や子供の手の届く場所に置かないこと

あやまってストラップを首に巻き付けたりすると、窒息やけがなどの原因となることがあります。

禁　止

ショルダーストラップをお使いのときは、電車や車のドアなどに引っかからないように注意すること

窒息やけがなどの原因となることがあります。

指　示

もくじ

はじめに

準備する

撮影する

再生する

消去する

パソコンに接続する

その他

付録

カメラの取扱いについて

ご使用の際は、「安全上のご注意」（➩ 6ページ）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

次のような場所での使用や保管は避けてください

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところ
- 高温または低温のところ
- 引火性の高いガスが充満しているところ
- ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

砂がかからないようにしてください

砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
海辺や砂地、砂ぼこりが起こる場所などでは、特にご注意ください。

結露にご注意ください

カメラを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
その場合は電源を切り、1時間ほどたってからお使いください。また、SDメモリーカードに水滴がついたときは、カメラから取り出し、水滴をふき取った後しばらくたってからお使いください。

お手入れするときは

- レンズ、液晶モニターの表面などは、傷を防ぐためにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

磁気にご注意ください

カメラのスピーカーのそばにクレジットカードやキャッシュカード、磁気定期券、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて、使用できなくなる場合があります。

電池について

推奨電池

カメラの性能を充分に引き出すために下記の電池の使用をおすすめします。

- 単三形ニッケル水素電池（充電可能）
  カメラ本体に充電機能はありません。ニッケル水素電池を充電する場合は、市販の充電器をご使用ください。
- 単三形リチウム電池（充電不可）
- CR-V3 リチウム電池パック（充電不可）

推奨電池以外の電池について

- 単三形マンガン乾電池はご使用になれません。
- 単三形アルカリ乾電池は使用できますが、冬季屋外などの低温時には数枚程度の撮影しかできません。
  低温時には推奨電池をお使いください。
- 単三形ニッカド電池は、環境への配慮からおすすめしておりません。

電池寿命について

電池のメーカーや保存期間、カメラや電池の温度、撮影条件（フラッシュ使用の有無など）により、電池寿命は大きく変動します。また、電池の＋極、－極、および電極に接するカメラの端子が汚れておりますと、電流が流れにくくなり、カメラは電池残量がないものと判断してしまいます。電池を出し入れするときには、これらの部分に触らないようにご注意ください。汚れていた場合は、乾いた布などで汚れをふき取ってください。
付属のアルカリ乾電池を使用した場合、以下のようになります。

撮影モード
条件　　　：25℃、フラッシュ使用率 100%
撮影間隔 ：30 秒ごとに 1 枚撮影
撮影枚数 ：約 180 枚

再生モード
条件　　　：25℃、スライドショー実行
再生時間 ：約 180 分

※ ここに記載した撮影枚数および再生時間は参考値であり、これを保証するものではありません。

電池の上手な使い方

カメラは電源を切った状態でも微弱な電流を消費します。長時間使用しない場合は電池を取りはずしておくことをおすすめします。約 1 週間程度取りはずしておくと、日付・時刻やその他の設定が初期設定に戻ることがあります。ご使用になる前に再度設定してください。寒冷地で使用するときは、カメラや電池を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。
電池の性能は低温時に低下し撮影できる枚数が少なくなりますが、25℃程度の常温に戻ると回復します。

ACアダプターについて

必ず指定のACアダプター（PDR-AC20）（別売）をご使用ください。それ以外のACアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。
ご使用の際は、「安全上のご注意」（➪ 6ページ）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- ACアダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 接続するときは、ACアダプター本体のプラグをカメラのDC IN 5V端子にしっかり差し込んでください。
- ACアダプターのコードを抜くときは、カメラの電源を切り、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 電池動作中にACアダプター本体のプラグを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACアダプターは室内専用です。
- ACアダプターはこのカメラ以外には使用しないでください。
- 使用中、ACアダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音がはいる場合がありますので、離してお使いください。
- カメラが動作中に電池またはACアダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。そのときには、日時を設定し直してください。

仕様

ACアダプター（PDR-AC20）

電源	：AC100V 〜 240V　50/60Hz
定格入力容量	：AC100V 33VA（電気用品安全法）
定格出力	：DC5V 3A
使用温度	：0℃〜+40℃
保存温度	：－20℃〜＋65℃
外形寸法	：40.0mm × 30.5mm × 94.2mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量	：約150g
付属品	：取扱説明書、ACコード

メモ
- 付属のACコードは日本国内向け（AC100V〜125V）です。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合したACコードをご使用ください。

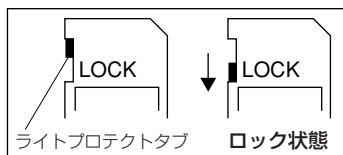
付属の SD メモリーカードについて

SD メモリーカードは、本書中では「SD カード」と記述します。付属の SD カードの取扱いについては、以下の点にご注意ください。

ご使用上の注意

- SD カードは不揮発性の半導体メモリー（NAND 型フラッシュ EEP-ROM）を内蔵しています。通常のご使用で記録したデータが破壊（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破壊（消滅）することがあります。記録されたデータの破壊（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- SD カードはメモリーの一部を SD カードに基づくシステム領域として使用するため、ご使用いただけるメモリー容量は表示の容量より少なくなっています。
- 付属の SD カードはフォーマット済みですので、そのままご使用になれます。画像やフォルダを消去するためにフォーマットする場合は、必ずこのカメラでフォーマットを行なってください。SD ロゴマークがついていない他の機器（パソコンなど）でフォーマットを行うと、データの書きこみ、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがあります。
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- SDカードには寿命があります。長時間使用するうちに書き込みや消去ができなくなった場合は、新しい SD カードをお求めください。
- このカメラは、SD 規格 Ver.1.01 に準拠しています。

誤消去防止について

大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態（書き込み禁止状態）にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

仕様

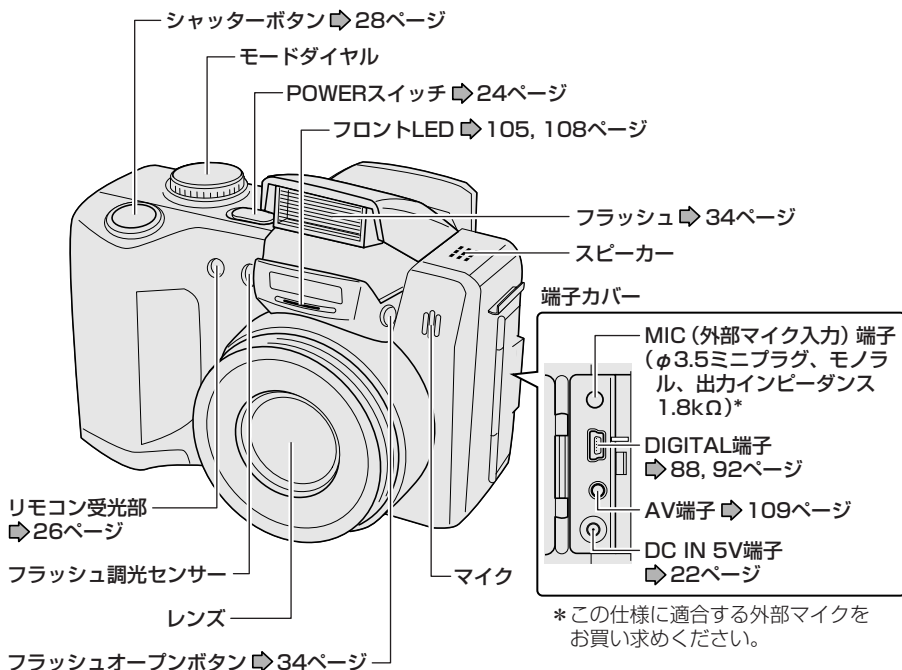
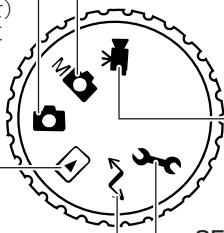
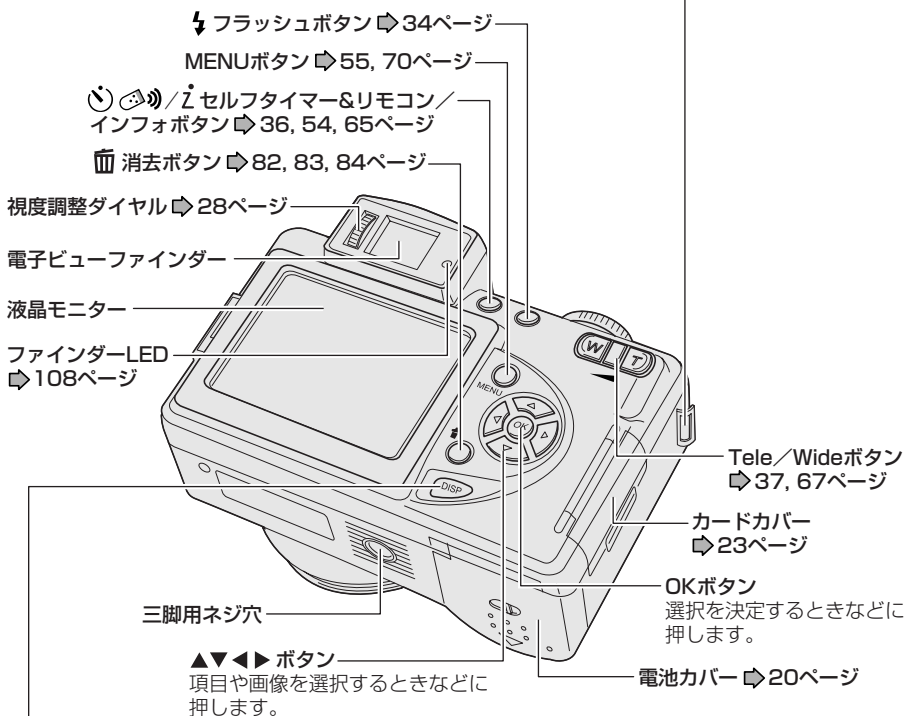
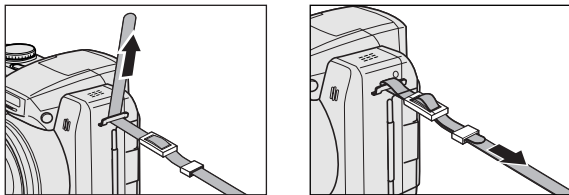
メモリーの種類	：NAND 型フラッシュメモリー
動作温度	：0℃～＋ 55℃
保存温度	：－ 20℃～＋ 65℃
動作 / 保存湿度	：30% ～ 80%（結露しないこと）
外形寸法	：24.0mm × 32.0mm × 2.1mm（幅×高さ×奥行き）
質量	：約 2g

- 使用可能な市販のSDカードについては、ホームページでご確認ください。
  東芝デジタルスチルカメラホームページ：
  http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/
  2003 年 4 月までに発売された SD カードで検証を行なっています。

準備する

各部のなまえ

シャッターボタン ➡ 28ページ
モードダイヤル
POWERスイッチ ➡ 24ページ
フロントLED ➡ 105, 108ページ
フラッシュ ➡ 34ページ
スピーカー
端子カバー
MIC（外部マイク入力）端子（φ3.5ミニプラグ、モノラル、出力インピーダンス 1.8kΩ）*
DIGITAL端子 ➡ 88, 92ページ
AV端子 ➡ 109ページ
DC IN 5V端子 ➡ 22ページ
リモコン受光部 ➡ 26ページ
フラッシュ調光センサー
レンズ
マイク
フラッシュオープンボタン ➡ 34ページ

＊この仕様に適合する外部マイクをお買い求めください。

■ モードダイヤル

ショルダーストラップ取り付け部
図のように、ストラップ取り付け部に、ショルダーストラップの先端を通し、留め具に通します。
同じように、ストラップの反対側の端を取り付けます。

DISPボタン
ボタンを押すごとに、液晶モニター表示と電子ビューファインダー表示が切り替わります。
ボタンを長めに押すと、スリープモード* になります。

＊スリープモード
カメラの消費電力を抑え、電池の消耗を防ぐための待機状態です。
スリープモードは、撮影モードのときに、はたらきます。
撮影を一時中断するときなどに、スリープモードにしておくと、電池を節約できます。
スリープモード中は、レンズが出たままの待機状態になり、すぐに撮影できる状態に戻せます。
撮影できる状態に戻すには、次のいずれかの操作を行います。

・DISPボタンを押す
・シャッターボタンを半押しする
・モードダイヤルを切り替える

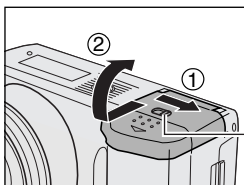
スリープモードの状態で、15分間カメラを操作しなかったとき、またはPOWERスイッチをスライドすると電源が切れます。

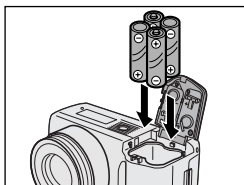
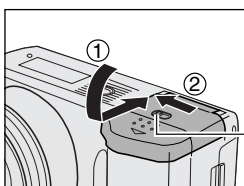
電池を入れる・取り出す

電池を入れる前に、「電池について」（➡ 13ページ）をよくお読みください。

● **準備**
AC アダプターをつないでいる場合は、電源が切れていることをご確認ください。

電池を入れる

1 電池カバーを開ける

電池カバーロックをはずし①、電池カバーをスライドさせて開けます②。

2 図のように正しい向きで電池を入れる

3 電池カバーを閉める

電池カバーを閉めてスライドさせ①、ロックします②。
カバーが確実に閉まっていることをご確認ください。

- 正常な終了動作をしていない状態で電池を入れた場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。

電池を取り出す

入れるときの手順と同じように取り出す

- 電池を取り出すときは､必ずカメラの電源を切ってから行なってください｡電源がはいった状態で電池を取り出すと、故障や大切なデータが壊れる原因となることがあります。
- 電源がはいった状態で電池を取り出すと、カメラの設定内容が初期設定に戻る場合があります。その場合は、設定をやり直してください。
- 電池を取り出すときは、誤って落下させないように気をつけてください。

■ 電池残量表示

電源を入れると、画面に電池残量が表示されます。

表示				
意味	充分残っています	少なくなっています	ほとんど残っていません	残量がありません

- 初めて使うとき、または電池を入れずに放置したときは、日時設定の画面が自動的に表示されます。日時設定を行なってください。
  「日付・時刻を合わせる」➡ 25ページ
  「電池の上手な使い方」 ➡ 13ページ
- 電池がなくなった状態で､電池交換を行う場合､ACアダプターを差し込まないでください。電池残量のチェックが正常に機能しなくなります。
- 電池残量は、カメラの液晶モニター／電子ビューファインダー、フラッシュ、撮影、再生に必要な電気量に基づいて算出されています。電池残量がわずかにあっても、それぞれのカメラ操作に必要な量がないときは、画面に［ ］と表示されます。

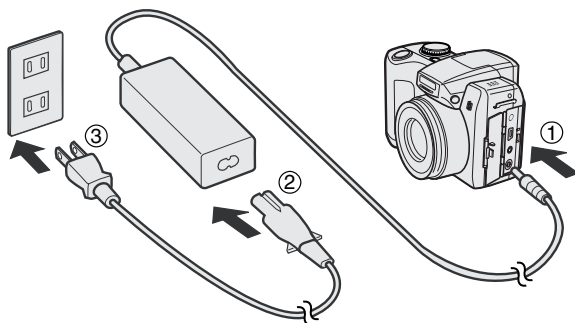
AC アダプターを使う

屋内などコンセントがある場所では、AC アダプター（別売）を使うと長時間使用することができます。また、電池消耗による撮影の失敗やパソコンへのデータ転送の失敗などを防ぐことができます。ACアダプターの取扱いについては、「ACアダプターについて」（➡ 14 ページ）をよくお読みください。

重要

- ACアダプターの抜き差しは必ずカメラの電源を切ってから行なってください。電源がはいった状態で行うと、電池がはいっている状態であっても、故障や大切なデータが壊れる原因となることがあります。
- 電源がはいった状態で AC アダプターの抜き差しを行うと、設定内容が初期設定に戻る場合があります。その場合は、設定をやり直してください。
- 正常な終了動作をしていない状態で AC アダプターを使用した場合、正常に起動しないことがあります。この場合はもう一度電源を入れ直してください。
- カメラ本体を用いて電池を充電することはできません。ニッケル水素電池を充電する場合は、市販の充電器をご使用ください。

● 準備

カメラの電源が切れていることを確認してください。

1 AC アダプターの接続プラグをカメラの DC IN 5V 端子に差し込む

2 AC アダプターと AC コードを接続する

3 AC コードの電源プラグをコンセントに差し込む

はじめに
準備する
撮影する
再生する
消去する
パソコンに接続する
その他
付録

SD カードを入れる・取り出す

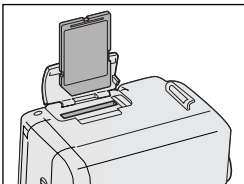
カメラで撮影した画像はSDカードに記録されます。カメラにSDカードがセットされていない状態では、撮影できません。

● **準備**
SD カードの抜き差しを行う前に、カメラの電源を切ってください。

はじめに
準備する
撮影する
再生する
消去する
パソコンに接続する
その他
付録

SD カードを入れる

1 カードカバーを開ける

2 図のように正しい向きで SD カードを入れる

カードの金属面を液晶モニター面に合わせ、しっかり奥まで差し込みます。

3 カードカバーを閉める

SD カードを取り出す

カードカバーを開け、一度カードを押し込み、カードが少し出てきたら、ゆっくり引き抜く

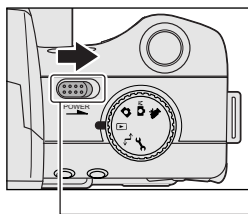
- SD カードへ記録中（ファインダーLEDが赤点灯中）は、絶対にカードカバーを開けたり、SDカードを取り出さないでください。SDカードまたはSD カードのデータが壊れることがあります。
- 他の機器で使用したSD カードを使うときは、撮影する前に必ずこのカメラでフォーマットを行なってください（➡ 84ページ）。
- このカメラは、MultiMediaCard™（マルチメディアカード）には対応しておりません。

電源を入れる・切る

電源を入れます。

● **準備**
電池とSDカードを入れてください。「電池を入れる・取り出す」 ➪ 20ページ、「SDカードを入れる・取り出す」 ➪ 23ページ

電源を入れる

POWER スイッチを矢印の方向にスライドし、電源を入れる

POWERスイッチ

モードダイヤルが合っているモードで、カメラが起動します。

メモ
- 撮影するときは、レンズキャップをはずしてください。
撮影モード［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］にすると、レンズが自動的に出てきます。
- 一定時間、カメラを操作しなかったとき、電池の消耗を防ぐために電源が切れます。このことをオートパワーオフといいます。動作の状態に戻すには、もう一度電源を入れてください。
「オートパワーオフ」 ➪ 102ページ
- カメラを初めて使用する場合や、電池を入れずに放置した場合は、モードダイヤルが［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のときは、電子ビューファインダー表示、モードダイヤルが［ ▶ ］のときは、液晶モニター表示となります。表示の切り替えはDISP ボタン（➪ 19ページ）で行います。

電源を切る

POWER スイッチをスライドし、電源を切る

電源が切れます。
撮影モード［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］にしていたときは、レンズが自動的におさまります。
カメラを使用しないときは、レンズキャップをはめておいてください。

日付・時刻を合わせる

カメラを初めて使用するときや、電池を入れずに放置したときは、日時設定の画面が自動的に表示されます。日付と時刻を設定してください。
秒は設定できません。

◀▶ボタンで設定したい項目を選択し、▲▼ボタンで値を設定する

▶ボタンを押すごとに、次の順で移動します。

年→月→日→時→分→日付書式→決定→キャンセル

◀ ボタンでは、この逆の順で移動します。
日付書式によって、年月日の順番が変わります。

2 ◀▶ボタンで［決定］を選択し、OK ボタンを押す

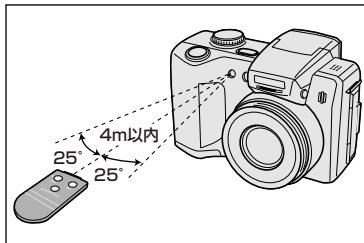
設定を取り消す場合は、［キャンセル］を選択し、OK ボタンを押します。
日時の設定が終わったら、モードダイヤルを目的のモードに合わせます。

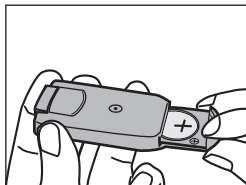
- モードダイヤルが［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のときは、電子ビューファインダー表示、モードダイヤルが［ ▶ ］のときは、液晶モニター表示となります。表示の切り替えは DISP ボタン（➡ 19 ページ）で行います。

リモコンについて

リモコンを使用すると、離れた場所から撮影・再生の操作ができます。
リモコンの操作について、詳しくは「リモコンで撮影する」（➡ 54 ページ）、「再生する」（➡ 64 ページ）をご覧ください。

使用できる範囲

リモコンは、以下の範囲で使用できます。
・距離：カメラから約 4m 以内
・角度：カメラのリモコン受光部に対し、左右約 25 度以内

- 落とす、激しく振るなどの強い衝撃をあたえないでください。
- リモコンに水をこぼさないでください。
- 分解しないでください。
- 高温多湿の場所に置かないでください。
- リモコン受光部を直射日光など明るい光にさらさないでください。

電池交換のしかた

コイン形リチウム電池（CR2025）を使用します。
リモコン下部の電池カバーをスライドすると、電池カバーが開きます。
（＋）と（－）の向きを確認し、電池を入れます。
電池を入れたら、電池カバーを閉めます。

- リモコンの反応がにぶくなったり、反応しなくなった場合は、電池を交換してください。
- 使用期限を過ぎた電池は使用しないでください。
- リモコンの電池は充電できません。
- 電池が液もれした場合は、新しい電池と交換する前に、電池ケースについた液を完全にふき取ってください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池の（＋）と（－）を逆向きに挿入しないでください。
- 電池を充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないでください。
- 使い切った電池をリモコンの中に入れたままにしないでください。
- 電池は幼児や小さな子供の手の届く場所に置かないでください。

撮影する

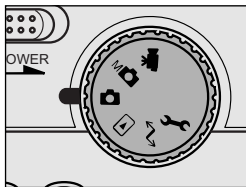
撮影する（オート撮影）

一般的な撮影方法です。撮影状況に応じて、自動的に露出（シャッター速度と絞りの組み合せ）を制御するので、簡単に撮影できます。

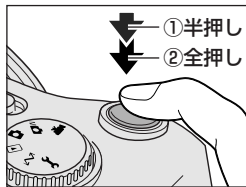
1 撮影の準備をする

指定の電池（➡ 20ページ）とSDカード（➡ 23ページ）をカメラに入れ、レンズキャップをはずしてください。

2 POWERスイッチをスライドし、電源を入れる

3 モードダイヤルを［ 📷 ］に合わせる

4 液晶モニター、または電子ビューファインダーを見ながら構図を決める

電子ビューファインダーを使用する場合、電子ビューファインダーの画像が鮮明に表示されるまで「視度調整ダイヤル」を回します。
画面が明るすぎる、または暗すぎる場合は、明るさを調節してください。
「液晶の明るさ」➡ 61ページ

5 シャッターボタンを半押し①、全押し②する

半押しで自動的にピントと露出を合わせ、全押しで撮影されます。
ピントが合うと、フォーカスエリアの枠が緑色になり、ファインダーLEDが緑点灯します。露出が適正になると、AEアイコンが緑になります。
撮影プレビューを「オン」に設定していると、撮影後、プレビュー画像（撮影された画像）が2秒間表示されます。
「撮影プレビュー」➡ 60ページ

- 撮影後、画像がSDカードへ記録されている間は、ファインダーLEDが赤点灯します。ファインダーLEDが赤点灯中は、電池カバーやカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。SDカードやSDカードのデータが破壊される場合があります。
- フラッシュ撮影時は、フラッシュを開いておいてください。
- 撮影するときは、レンズやフラッシュ、フラッシュ調光センサーに、ストラップや指などがかからないようにしてください。

ピントを合わせる

- 画面の中央以外にピントや露出を合わせたいときは、目的の被写体を画面の中央に移動し、半押し（AF・AE ロック）状態にしたまま、構図を戻して全押し（撮影）します。
- 本製品は正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスがはたらきにくく、ピントが合わないことがあります。

・被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）
・鏡・車のボディーなど光沢があるもの
・髪の毛や毛皮のように反射しにくいもの
・コントラスト（明暗の差）が極端に低いとき（背景と同色の服を着ている人物など）
・高速で移動する被写体
・煙や炎などの実体のないもの
・ガラス越しの被写体
・被写体が遠くて暗いとき

メモ
- 液晶モニターには、常に明るい点、暗い点、色がついている点などが見える場合がありますが、故障ではありません。また、記録される画像には、このような点はありません。
- シャッターボタンを半押ししてから、ピントが合うまでの間、液晶モニターの画像が暗くなる場合があります。
- シャッターボタンを押すときカメラが動くと、写真がブレる原因となります。
- ピントが合わない場合、無限遠の位置でフォーカスを固定します（フラッシュ使用時は約 1.5m の位置で固定します。マクロ撮影時は至近距離に合わせます）
- フラッシュ充電に数秒かかることがあります。フラッシュ充電中はファインダー LED がオレンジ点灯します。ファインダー LED がオレンジ点灯している間は、撮影できません。

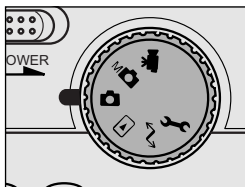
オート撮影時の液晶モニター／電子ビューファインダーの表示

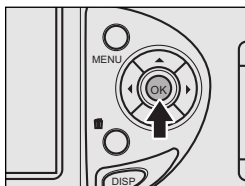
表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

メモ
- DISPボタンを押すごとに、液晶モニター表示と電子ビューファインダー表示が切り替わります。

シーンモードを設定する

［ **AUTO** ］オート、［ 👤 ］人物、［ ▲▲ ］風景、［ 🏃 ］スポーツ、［ 👤▲ ］人物+風景、［ 👤★ ］夜景、［ ▦ ］マルチなどのシーンを設定して撮影します。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

1 モードダイヤルを［ 📷 ］に合わせる

2 OK ボタンを押す

メニューが選択できる状態になります。

3 ◀▶ボタンで［SCENE］を選択し、▲ ボタンを押す

シーンモードアイコンが一覧表示されます。

4 ◀▶ボタンで設定したいシーンモードのアイコンを選択し、OK ボタンを押す

OKボタンを押すと設定が確定し、画面下に選択したシーンモードアイコンが表示されます。
シーンモードの設定をキャンセルするときは、▼ボタンを押します。

5 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

[AUTO] オート

カメラにまかせて気軽に撮影したいときに選択します。
フラッシュは、すべての設定を使用できます。

[ ] 人物

人物をうきだたせ、背景をぼかして撮影したいときに選択します。
フラッシュは、赤目軽減効果のある［ ］オート固定となります。

[ ] 風景

遠くの景色や風景を撮影したいときに選択します。
フラッシュは使用できません。

[ ] スポーツ

動きの速い被写体を撮影したいときに選択します。
フラッシュは使用できません。

[ ] 人物＋風景

景色や風景を背景にして、人物を撮影したいときに選択します。
フラッシュは、赤目軽減効果のある［ ］オート固定となります。

[ ] 夜景

夕暮れや夜景を背景にして、人物を撮影したいときに選択します。
フラッシュは、［ ］スローシンクロ固定となります。
（シャッター速度を変化させながら、同時にフラッシュも発光する）

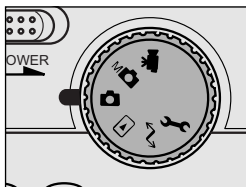
[ ] マルチ

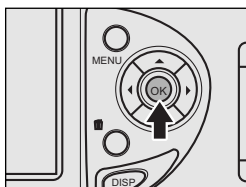
0.13秒間隔（7.5コマ／秒）で連続して16回撮影します。動きのある被写体を連続撮影したいときに効果的です。
フラッシュは使用できません。
撮影した16枚は、最大サイズ（PDR-M700：3M、PDR-M500：2M）の1画像として保存されます。
マルチ撮影をする前に、最大サイズ以外のサイズに設定していた場合は、自動的に最大サイズに変更されます。マルチ撮影を解除すると、設定前のサイズに戻ります。
マルチ撮影した画像は、簡易動画再生（64ページ）でも再生できます。
マルチでは、ズーム再生はできません。

メモ
- 夜景など背景が暗いところや、暗い場所で撮影する場合は、シャッター速度が遅くなり、手ブレ警告が表示されます（シャッターを半押ししたときにファインダーLEDが緑色に点滅し、画面に手ブレマーク［ ］が表示されます）。手ブレ防止のため、三脚の使用をおすすめします。
- 各シーンの説明は一般的な目安です。お好みに合わせて設定してください。

フォーカスを設定する

［ **AF** ］オートフォーカス、［ 🌷 ］マクロ、［ ∞ ］無限遠、［ **1m** ］1m 固定、［ **3m** ］3m 固定など、被写体との距離を設定して撮影できます。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

1 モードダイヤルを［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2 OK ボタンを押す

メニューが選択できる状態になります。

3 ◀▶ボタンで［FOCUS］を選択し、▲ ボタンを押す

フォーカスアイコンが一覧表示されます。

4 ◀▶ボタンで設定したいフォーカスのアイコンを選択し、OK ボタンを押す

OKボタンを押すと設定が確定し、画面下に選択したフォーカスアイコンが表示されます。
フォーカスの設定をキャンセルするときは、▼ボタンを押します。

5 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

[AF] オートフォーカス

カメラにまかせて気軽に撮影したいときに選択します。

[🌷] マクロ

距離が約 10cm〜50cm（Wide 側：ズーム無し）、または約 90cm〜1.2m（Tele 側：光学 10 倍ズーム時）の被写体を撮影したいときに選択します。

[∞] 無限遠

距離が 5m 以上の被写体を撮影したいときに選択します。

[1m] 1m 固定

距離が約 1m の被写体を撮影したいときに選択します。

[3m] 3m 固定

距離が約 3m の被写体を撮影したいときに選択します。

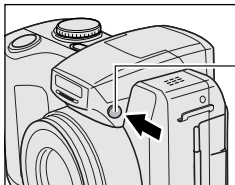
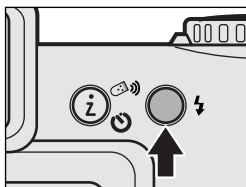
- [**1m**]、[**3m**]、[**∞**] に設定すると、カメラがそれぞれの距離にフォーカスを固定して撮影します。

フラッシュを設定する

フラッシュを設定して撮影します。撮影する状況に応じて、フラッシュの発光モードを設定できます。フラッシュが有効な距離は約0.5m～4.4m（Wide側、感度ISO400）です。設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

1 モードダイヤルを［ ］［M ］のいずれかに合わせる

［ ］モードでは、シーンモードに［AUTO］を選択したときにフラッシュを設定できます。
シーンモードによって、フラッシュの設定は制限されます。
「シーンモードを設定する」➪ 30ページ

2 フラッシュオープンボタンを押し、フラッシュを開く

3 フラッシュボタンを押す

フラッシュボタンを押すごとに、画面に次の順番で表示されます。

［ ］モードでシーンモード［AUTO］のとき

→［ A］オート →［ ］赤目軽減 →［ ］強制発光
［ ］スローシンクロ ←［ ］発光禁止 ←

［M ］モードのとき

［ ］赤目軽減→［ ］強制発光→［ ］発光禁止

4 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする

フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときに、画面のフラッシュアイコンが黄で表示されます。

重要 • フラッシュは、設定しているモードなどで制限があります。

[⚡A] オート

撮影状況に応じて、フラッシュが自動的に発光します。一般的な撮影に最適です。
[📷] オート撮影で、シーンモードに [👤] 人物、[👤▲] 人物＋風景を設定しているときは、赤目軽減のために、フラッシュは２回発光し、２回目の発光時に撮影されます。

[⚡👁] 赤目軽減

赤目現象（⇨ 用語 117 ページ）を軽減し、暗いところで瞳を自然に撮りたいときに使用します。撮影するとき、被写体（人）にカメラへ視線を向けてもらったり、なるべく近づいて撮影したりすると、赤目軽減の効果があります。
フラッシュが必ず２回発光し、２回目の発光時に撮影されます。

[⚡] 強制発光

必ずフラッシュが発光します。逆光、蛍光灯などの人工照明下で撮影するときに使用します。

[⊘] 発光禁止

室内照明を利用した撮影、舞台や室内競技など、フラッシュの光が届かない距離での撮影に使用します。

[⚡◐] スローシンクロ

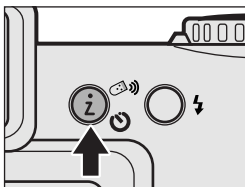
シャッタースピードを遅く設定した場合でも、フラッシュが発光します。
意図的に手ブレを表現したり、フラッシュの光が届かない背景まで明るく撮影できます。

- フラッシュが閉じている場合は、発光禁止固定です。
- シーンモードに [▲▲] 風景、[🏃] スポーツ、[▦] マルチを設定している場合は、発光禁止固定となり、フラッシュ撮影できません。
- シーンモードに [👤★] 夜景を設定している場合は、スローシンクロ固定です。

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを使うと、設定時間（2 秒または 10 秒）後に自動的にシャッターが切れます。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらくと解除されます。

1 モードダイヤルを［ ］［M ］［ ］のいずれかに合わせる

2 セルフタイマー＆リモコンボタンを押す

セルフタイマー＆リモコンボタンを押すごとに、画面に次の順番で表示されます。

→（[表示なし] 設定しない →［ 10s ］10 秒後
（[］リモコン)* ←［ 2s ］2 秒後 ←

＊［ ］リモコンに設定すると、リモコンを使って撮影できます。
「リモコンで撮影する」➡ 54ページ

3 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする

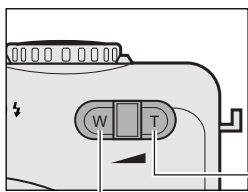
フロント LED が点滅し、設定時間（2 秒または 10 秒）後に撮影されます。
画面にはカウントダウンが表示されます。
途中でやめるときは、▼ボタンを押してください。

- 連続撮影はできません。
- セルフタイマーの設定が［ 10s ］または［ 2s ］の場合は、1 回撮影をすると自動的に設定が解除されます。
- セルフタイマーの設定［ 2s ］を使用すると、シャッター押下時の手ブレ防止に効果的です。

ズーム撮影する

被写体との距離に応じて、10倍光学ズーム、4倍デジタルズームを使って、最大40倍までのズーム撮影ができます。

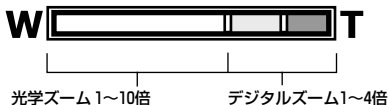
1 モードダイヤルを［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2 Tele ボタンまたは Wide ボタンでズームの度合いを調節し、構図を決める

Tele ボタンを押すとズームし、遠くにあるものを大きく撮影できます。Wide ボタンを押すと、広い範囲を撮影できます。
Tele/Wide ボタンの状態によって、レンズの位置が動きます。

3 シャッターボタンを半押し、全押しする

メモ

- デジタルズームは、撮影メニューでオン／オフを設定できます。
  「デジタルズーム」➡ 56ページ
- 電源を切るか、オートパワーオフがはたらくと、Tele ボタンおよび Wide ボタンの設定は自動的に解除されます。
- 画面でズームの状態を確認できます。
- デジタルズームバーの色は、画像サイズとデジタルズームの倍率によって次のように変わります。
  黄色　　：画質の劣化が少なく、きれいに撮影できます。
  オレンジ：多少の画質劣化はありますが、被写体をより大きく撮影できます。

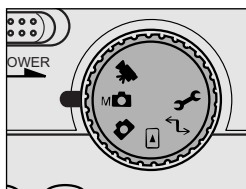
光学ズーム 1～10倍　　デジタルズーム1～4倍

撮影する（マニュアル撮影）

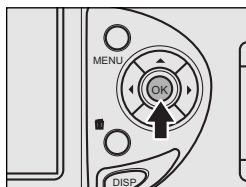
露出モード、ホワイトバランス、測光方式、キャプチャーモードなどを手動で調節して撮影します。設定は電源を切っても保持されます。

1 撮影の準備をする

指定の電池（➡ 20ページ）とSDカード（➡ 23ページ）をカメラに入れ、レンズキャップをはずしてください。

2 POWERスイッチをスライドし、電源を入れる

3 モードダイヤルを［M📷］に合わせる

4 OKボタンを押す

メニューが選択できる状態になります。

［**EXP**］	露出モード	➡ 40ページ
［**WB**］	ホワイトバランス	➡ 45ページ
［**AE**］	測光方式	➡ 48ページ
［**S/C**］	キャプチャーモード	➡ 49ページ
［**FOCUS**］	フォーカス	➡ 32ページ

5 ◀▶ボタンで設定項目を選択し、▲ ボタンを押す

選択した項目のアイコンが一覧表示されます。

6 ◀▶ボタンで設定したい項目のアイコンを選択し、OKボタンを押す

OKボタンを押すと設定が確定し、画面下に選択した項目のアイコンが表示されます。
各項目をキャンセルするときは、▼ボタンを押します。

7 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

8 液晶モニター、または電子ビューファインダーを見ながら、構図を決める

「液晶の明るさ」➪ 61ページ

9 シャッターボタンを半押し①、全押し②する

半押しで自動的にピントを合わせ、全押しで撮影されます。
ピントが合うと、フォーカスエリアの枠が緑色になり、ファインダーLEDが緑点灯します。露出が適正になると、ヒストグラムの枠が緑色になります。
撮影プレビューを「オン」に設定していると、撮影後、プレビュー画像（撮影された画像）が2秒間表示されます。

重要

- 撮影後、画像がSDカードへ記録されている間は、ファインダーLEDが赤点灯します。ファインダーLEDが赤点灯中は、電池カバーやカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。SDカードやSDカードのデータが破壊される場合があります。
- フラッシュ撮影時は、フラッシュを開いておいてください。

マニュアル撮影時の液晶モニター／電子ビューファインダーの表示

表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

- DISPボタンを押すごとに、液晶モニター表示と電子ビューファインダー表示が切り替わります。
- ヒストグラムとは、画像の明るさの分布を表すグラフのことです。

露出を設定する（EXP）

［**PRG**］プログラム、［**Av**］絞り優先、［**Tv**］シャッター速度優先、［**M**］マニュアルなど、目的に合わせた設定をして撮影します。

［PRG］プログラム（自動露出）

被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度と絞りを自動セットします。［ 📷 ］モードで［ **AUTO** ］を選択した場合と同じように気軽に撮影することができます。プログラムでは、ホワイトバランス、測光方式などを切り替えて撮影することができます。

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［EXP］を選択し、▲ ボタンを押す

露出モードアイコンが一覧表示されます。

3 ◀▶ボタンで［PRG］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、画面下に［PRG］と表示されます。

4 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

はじめに
準備する
撮影する
再生する
消去する
パソコンに接続する
その他
付録

[Av] 絞り優先

絞りを優先して撮影します。絞りに応じて、自動的にシャッター速度を設定します。絞りの値を小さく（開放側へ）すると、背景をぼかした人物写真などが撮影できます。逆に、絞りの値を大きく（絞り側へ）すると、風景などを手前から遠くまで鮮明に撮影できます。

モードダイヤルを［ M ］に合わせ、OK ボタンを押す

◀ ▶ボタンで［EXP］を選択し、▲ ボタンを押す

露出モードアイコンが一覧表示されます。

◀ ▶ボタンで［Av］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、画面下に［Av］と表示されます。

OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

▲▼ボタンで絞りを設定する

絞り　シャッター速度

設定範囲は次のとおりです。

▲ボタン（絞り側へ）
F8.0/F7.1/F6.3/F5.6/F5.0/F4.5/F4.0/F3.6/F3.2/F2.8
▼ボタン（開放側へ）

画面に、絞りとその値に応じたシャッター速度が表示されます。適切な組み合わせに設定できない場合、ヒストグラムの枠が赤で表示されますが、撮影はできます。
あわせて◀ ▶ボタンで露出補正（➡ 52 ページ）ができます。

- 絞りを F2.8（開放）に設定した場合、シャッター速度は高速側 1/1000 秒までに制限されます。
- ズームレンズの位置によって、設定した絞りの値と実際に撮影される絞りの値が異なります。

［Tv］シャッター速度優先

シャッター速度を優先して撮影します。シャッター速度に応じて、自動的に絞りを設定します。シャッター速度を速くすると、動いている被写体が静止しているような写真を撮影できます。シャッター速度を遅くすると、流動感を感じさせる写真を撮影できます。

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［EXP］を選択し、▲ ボタンを押す

露出モードアイコンが一覧表示されます。

3 ◀▶ボタンで［Tv］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、画面下に［Tv］と表示されます。

4 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

5 ▲▼ボタンでシャッター速度を設定する

絞り　シャッター速度

設定範囲は次のとおりです。

▲ボタン（高速側へ）
1/2000、1/1600、1/1300、1/1000、1/800、1/650、1/500、1/400、1/320、1/250、1/200、1/160、1/125、1/100、1/80、1/60、1/50、1/40、1/30、1/25、1/20、1/15、1/13、1/10、1/8、1/6、1/5、1/4、1/3、1/2.5、1/2、0.6”、0.8”、1”、1.3”、1.6”、2”、2.5”、3”、4”、5”、6”、8”、10”、13”、16”
▼ボタン（低速側へ）

画面にシャッター速度とその値に応じた絞りが表示されます。適切な組み合わせに設定できない場合、ヒストグラムの枠が赤で表示されますが、撮影はできます。
あわせて◀▶ボタンで露出補正（➡ 52ページ）ができます。

- シャッター速度を0.6秒より低速に設定すると、長時間露光撮影となり、画面に［ ◑ ］が表示されます。
- シャッター速度が0.6秒より低速に設定されている場合、フラッシュ撮影で［ ϟ ］強制発光、［ ϟ◉ ］赤目軽減に設定すると、シャッター速度は自動的に1/2秒に変更されます。
- AEB撮影（⇨51ページ）と連写撮影（⇨50ページ）では、シャッター速度を0.6秒より低速に設定できません。
- フラッシュ撮影で［ ⊘ ］発光禁止以外に設定した場合、シャッター速度は1/2秒から1/500秒の間に制限されます。
- シャッター速度が1/650秒より高速に設定されている場合、フラッシュの設定を［ ϟ ］強制発光、［ ϟ◉ ］赤目軽減に変更すると、シャッター速度は自動的に1/500秒に変更されます。

はじめに
準備する
撮影する
再生する
消去する
パソコンに接続する
その他
付録

[M] マニュアル

絞りの値とシャッター速度の値をそれぞれ個別に設定し、撮影します。

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［EXP］を選択し、▲ ボタンを押す

露出モードアイコンが一覧表示されます。

3 ◀▶ボタンで［M］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、画面下に［M］と表示されます。

4 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

5 ▲▼ボタンで絞り(⇨ 41ページ)を、◀▶ボタンでシャッター速度（⇨ 42 ページ）をそれぞれ調整する

メモ
- ヒストグラムの枠が赤になっている場合は、露出が適正でないことを示しています。マニュアルに設定されている場合は、◀▶ボタンはシャッター速度の設定となり、露出補正の設定はできません。適正な露出にするには、シャッター速度、絞りを調整してください。
- 絞りを F2.8（開放）に設定した場合、シャッター速度は高速側 1/1000 秒までに制限されます。
- シャッター速度を0.6秒より低速に設定すると、長時間露光撮影となり、画面に［ ◔ ］が表示されます。

ホワイトバランスを設定する（WB）

さまざまな照明下で撮影するときのホワイトバランスを設定し、人間の目で見た状態に近づけて撮影します。
ホワイトバランス ➡ 用語 117 ページ

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［WB］を選択し、▲ ボタンを押す

ホワイトバランスアイコンが一覧表示されます。

3 ◀▶ボタンで設定したい項目のアイコンを選択し、OKボタンを押す

設定が確定し、画面下に選択した項目のアイコンが表示されます。

［AW］	自動調整
［ ☼ ］	太陽光での撮影
［ ☁ ］	くもり空での撮影
［ 蛍光灯1 ］	昼光色蛍光灯下での撮影（青みがかった蛍光灯）
［ 蛍光灯2 ］	昼白色蛍光灯下での撮影（赤みがかった蛍光灯）
［ 白熱灯 ］	白熱灯下での撮影
［ PRE SET1 ］［ PRE SET2 ］	プリセット ➡ 46 ページ（自分でホワイトバランスを設定して登録する、または自分で登録したデータを使用する）

4 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

はじめに
準備する
撮影する
再生する
消去する
パソコンに接続する
その他
付録

[PRE SET1] [PRE SET2] プリセットを登録する

ホワイトバランスを手動で設定し、登録します。2 つまで登録できます。
ホワイトバランスがうまく合わないときなどに使用すると便利です。

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［WB］を選択し、▲ ボタンを押す

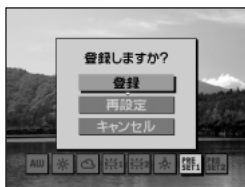
ホワイトバランスアイコンが一覧表示されます。

3 ◀▶ボタンで［ PRE SET1 ］または［ PRE SET2 ］を選択し、OK ボタンを押す

初めて登録する場合は、［設定データがありません］と表示されます。
すでにデータが登録されている場合は、▲▼ボタンで［再設定］を選択し、OK ボタンを押します。

4 ホワイトバランスを設定する被写体（白い皿や紙など）を決めて、シャッターボタンを全押しする

［登録しますか？］と表示されます。

5 ▲▼ボタンで［登録］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。
もう一度設定をやり直す場合は、［再設定］を選択し、OK ボタンを押します。
登録しない場合は、［キャンセル］を選択し、OK ボタンを押します。

6 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ
- ホワイトバランスを設定するときは、できるだけ画面いっぱいに被写体（白い皿や紙など）を撮影するようにしてください。

[PRE SET1] [PRE SET2] プリセットデータを使用する

登録したプリセットデータを使用します。

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀ ▶ボタンで［WB］を選択し、▲ ボタンを押す

ホワイトバランスアイコンが一覧表示されます。

3 ◀ ▶ボタンで［ PRE SET1 ］または［ PRE SET2 ］を選択し、OK ボタンを押す

4 ▲▼ボタンで［設定データ］を選択し、ＯＫボタンを押す

設定が確定します。

5 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

測光方式を設定する（AE）

露出を計算するための測光方式を設定します。

1 モードダイヤルを［M📷］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［AE］を選択し、▲ ボタンを押す

測光方式アイコンが一覧表示されます。

3 ◀▶ボタンで設定したい項目のアイコンを選択し、OKボタンを押す

設定が確定し、画面下に選択した項目のアイコンが表示されます。

［ ］ 中央部重点測光
（中央部に重点をおいて画面全域を測光して露出を決める）

［ ］ スポット測光
（画面中央のごく狭い部分を測光して露出を決める）

4 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

キャプチャーモードを設定する（S/C）

撮影するときの記録方法を設定します。

1 モードダイヤルを［ M📷 ］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀▶ボタンで［S/C］を選択し、▲ ボタンを押す

キャプチャーモードアイコンが一覧表示されます。

3 ◀▶ボタンで設定したい項目のアイコンを選択し、OKボタンを押す

設定が確定し、画面下に選択した項目のアイコンが表示されます。

［ □ ］　１ショット
［ □HI ］　高速連写　➡ 50 ページ
［ □ ］　通常連写　➡ 50 ページ
［ AEB3 ］　AEB3 枚撮影
（自動で露出をずらして３枚撮影する）
➡ 51 ページ
［ AEB5 ］　AEB5 枚撮影
（自動で露出をずらして５枚撮影する）
➡ 51 ページ

4 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ
- 高速連写、通常連写の機能は、マニュアル撮影の一機能です。
撮影のためには、撮影状況に合わせて撮影タブメニューの項目を設定する必要があります。
設定内容の確認は参照項目をご覧ください。
「撮影する（マニュアル撮影）」➡ 38ページ

[HI] 高速連写、[ ] 通常連写

高速連写と通常連写、2 種類の連続撮影ができます。
高速連写では最速 0.3 秒間隔で 6 枚まで（PDR-M500 は 9 枚まで）、通常連写では最速 1.0 秒間隔で 14 枚以上（PDR-M500 は 16 枚以上）連続撮影できます。
ただし、SDカードの空き容量が不足した場合、撮影枚数の上限に達する前に撮影は終了します。

1 モードダイヤルを [M] に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀ ▶ボタンで［S/C］を選択し、▲ ボタンを押す

キャプチャーモードアイコンが一覧表示されます。

3 ◀ ▶ボタンで [HI] または [ ] を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、画面下に選択したアイコンが表示されます。

4 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。
シャッター速度を 0.6 秒より低速に設定している場合、連続撮影を選択すると、自動的に 1/2 秒に変更されます。

5 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押ししたままでとめる

シャッターボタンを押し続けた場合、最大撮影枚数になるまで撮影し続けます。
途中でシャッターボタンを離すと、撮影も中断します。
撮影プレビューの設定に関わらず、自動的に画像がプレビューされます。

- 撮影間隔は、撮影状況によって変わります。
- 通常連写の撮影枚数は、撮影状況（被写体、記録媒体など）によって変わります。
- セルフタイマー撮影とフラッシュ撮影はできません。

[AEB3] [AEB5] 露出をずらして撮影する

露出度を決めるのが難しい場合、このモードを使うと、自動的に 1/3EV ずつずらして、3 段階（−0.3、0、+0.3）、または 5 段階（−0.7、−0.3、0、+0.3、+0.7）の露出で連続撮影できます。

1 モードダイヤルを［ M ］に合わせ、OK ボタンを押す

2 ◀ ▶ボタンで［S/C］を選択し、▲ ボタンを押す

キャプチャーモードアイコンが一覧表示されます。

3 ◀ ▶ボタンで［ AEB3 ］または［ AEB5 ］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し､画面下に選択した項目のアイコンが表示されます。

4 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

5 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする

［ AEB3 ］が設定されている場合は、−0.3、0、+0.3 の露出で 3 回、［ AEB5 ］が設定されている場合は、−0.7、−0.3、0、+0.3、+0.7の露出で5回シャッターがきれ、撮影されます。
撮影プレビューの設定に関わらず、自動的に画像がプレビューされます。

メモ
- シャッター速度を0.6秒より低速に設定している場合、AEB撮影を選択するとシャッター速度が 1/2 秒になります。
- ［ AEB3 ］が設定されている場合、0（標準）、−0.3（露出アンダー）、+0.3（露出オーバー）の順番で撮影されます。
  ［ AEB5 ］が設定されている場合は、0（標準）、−0.3（露出アンダー）、+0.3（露出オーバー）、−0.7（露出アンダー）、+0.7（露出オーバー）の順番で撮影されます。

露出を補正する

画面全体を意図的に明るくしたり、暗くしたりして撮影できます。被写体と背景の明るさ（コントラスト）の差が大きい場合や、撮影したい被写体が画面内で極端に小さい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに設定します。
露出は 1/3EV 単位で設定できます。

1 モードダイヤルを［M📷］に合わせる

2 ◀▶ボタンで露出を補正する

露出設定値

設定範囲は次のとおりです。

◀ボタン（－側へ）
－2.0/－1.7/－1.3/－1.0/－0.7/－0.3/0/+0.3/+0.7/+1.0/+1.3/+1.7/+2.0
▶ボタン（＋側へ）

値が大きいほど明るく、小さいほど暗くなります。
画面には、設定した値が表示されます。

3 構図を決めて、シャッターボタンを半押し、全押しする

撮影状況が暗いと、値を大きくしても、明るくならない場合があります。
補正後の明るさは、シャッターボタンを半押ししたときや、プレビュー画像（撮影された画像）で確認できます。
「撮影プレビュー」➡ 60ページ

効果のある被写体と設定値

■ ＋（プラス）補正

- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の場合
- 逆光の場合
- スキー場などの明るい場面や反射が強い場合
- 画面内の大部分を空が占める場合

■ －（マイナス）補正

- スポットライトを浴びた人物、特に背景が暗い場合
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の場合
- 常緑樹、または色の濃い葉など反射率が低い場合

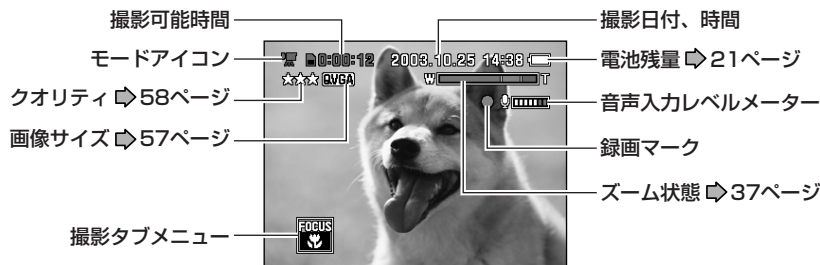
- [M] マニュアルに設定されている場合、◀▶ボタンはシャッター速度の設定となり、露出補正の設定はできません。適正な露出にするには、シャッター速度、絞りを調整してください。
「マニュアル」➡ 44ページ

動画を撮影する

動画を撮影します。音声も録音します。

モードダイヤルを［ 🎥 ］に合わせる

シャッターボタンを全押しする

動画の撮影が始まり、フロントLEDが点灯します。
もう一度シャッターボタンを全押しすると、動画の撮影を終え、画像がSDカードに記録されます。

■ 動画の記録時間について

SDカードに記録できる目安は以下のとおりです。

クオリティ	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB
★★★	25秒	57秒	2分1秒	4分2秒	8分13秒	16分0秒	33分45秒
★★	33秒	1分15秒	2分39秒	5分19秒	10分51秒	21分6秒	44分31秒
★	49秒	1分50秒	3分54秒	7分49秒	15分56秒	30分59秒	1時間5分21秒

重要

- 撮影後、画像がSDカードへ記録されている間は、ファインダーLEDが赤点灯します。ファインダーLEDが赤点灯中は、電池カバーやカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。SDカードやSDカードのデータが破壊される場合があります。
- 音声は、外部マイクを使用して録音することもできます。

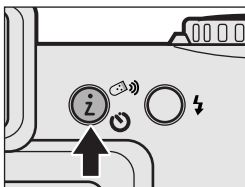
メモ

- 動画の画像サイズは、QVGA（320 × 240ピクセル）固定です。
- ［ 🎥 ］モードの撮影は、静止画の撮影より電池の消耗が早くなることがあります。
- ［ 🎥 ］モードでは、フラッシュ撮影できません。
- 動画撮影時、音声にレンズ音がはいる場合があります。
- リモコンを使っても撮影できます。
「リモコンで撮影する」⇨ 54ページ

リモコンで撮影する

リモコンを使って撮影します。
「リモコンについて」➡26ページ

1 モードダイヤルを［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2 セルフタイマー&リモコンボタンを押し、［ リモコン ］にする

セルフタイマー＆リモコンボタンを押すごとに、画面に次の順番で表示されます。

［表示なし］設定しない →［ 10s ］10秒後 →［ 2s ］2秒後 →［ リモコン ］リモコン →（［表示なし］へ戻る）

3 構図を決めて、カメラのリモコン受光部へリモコンを向けて 📷 ボタンを押す

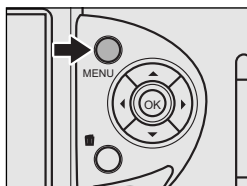
モードダイヤルが［ 📷 ］［ M📷 ］の場合は、撮影され、画像がSDカードに記録されます。
モードダイヤルが［ 🎥 ］の場合は、撮影を開始します。動画の撮影を終了するには、もう一度 📷 ボタンを押します。

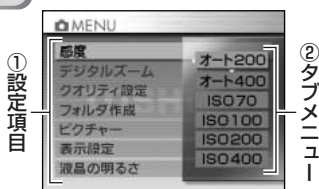
メモ
- リモコンの設定は、セルフタイマー＆リモコンボタンを押して、他の設定に変更するまで保持されます。
- ◁ ▷ボタンを使って、ズーム撮影もできます。
- 連続撮影の途中で撮影を中断したいときは、もう一度 📷 ボタンを押します。

撮影メニューの設定を変更する

撮影モードのとき（[📷] [M📷] [🎥]）に、どのような基本設定で撮影するかを設定します。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

1 モードダイヤルを［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2 MENU ボタンを押す

撮影メニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンで設定項目①を選択し、▶ボタンを押す

［ 📷 ］モードの
撮影メニュー画面

以下の設定項目では、▶ボタンを押すと、タブメニュー②が表示されます。

感度 ➩ 56 ページ
デジタルズーム ➩ 56 ページ

以下の設定項目では、▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

クオリティ設定 ➩ 57 ページ
フォルダ作成 ➩ 58 ページ
ピクチャー ➩ 59 ページ
表示設定 ➩ 60 ページ
液晶の明るさ ➩ 61 ページ

4 表示されたタブメニュー、または設定画面で目的の項目を設定する

設定が終了すると、撮影メニューに戻ります。

5 撮影メニューを終了するときは、MENU ボタンを押す

撮影できる状態になります。

はじめに
準備する
撮影する
再生する
消去する
パソコンに接続する
その他
付録

感度

撮影時の感度を設定します。感度をあげる（ISO の数値を大きくする）と、暗い場所でも撮影ができるようになりますが、画像にノイズが増えます。

1 撮影メニューから、▲▼ボタンで［感度］を選択し、▶ボタンを押す（➡ 55 ページ）

タブメニューが表示されます。

2 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、タブメニューが非表示になります。

［オート 200］：ISO70 ～ ISO200 の範囲で自動設定
［オート 400］：ISO70 ～ ISO400 の範囲で自動設定
［ISO70］　：ISO70 相当撮影
［ISO100］　：ISO100 相当撮影
［ISO200］　：ISO200 相当高感度撮影
［ISO400］　：ISO400 相当高感度撮影

メモ
- ［オート200］、［オート400］は、マニュアル撮影時には選択できません。
- マルチ撮影時と動画撮影時は設定にかかわらず、［オート400］に固定されます。

デジタルズーム

画面中央部をデジタル処理により、さらに拡大できます。
光学 10 倍×デジタル 4 倍ズームにより、被写体を最大 40 倍まで拡大撮影可能です。
画素補完技術によりデジタルズームのときも、設定した記録画素数で画像が記録されます。
「ズーム撮影する」➡ 37ページ
「クオリティ設定」➡ 57ページ

1 撮影メニューから、▲▼ボタンで［デジタルズーム］を選択し、▶ボタンを押す（➡ 55ページ）

タブメニューが表示されます。

2 ▲▼ボタンで［オン］または［オフ］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、タブメニューが非表示になります。

［オン］：デジタルズーム撮影を可能にする
［オフ］：デジタルズーム撮影を禁止する

クオリティ設定

撮影する画像のサイズとクオリティ（画質）を設定します。

1 撮影メニューから、▲▼ボタンで［クオリティ設定］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 55ページ）

クオリティ設定画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで［サイズ］または［クオリティ］を選択し、▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。

◀ ボタンを押す

撮影メニューに戻ります。

- 動画撮影の場合、サイズは QVGA（320 × 240 ピクセル）固定となります。
- オート撮影でシーンモードにマルチが設定されている場合、サイズは最大、クオリティは★★★固定となります。

■［ 📷 ］［ M📷 ］モードでの標準撮影可能枚数

被写体によって、記録されるデータ量が異なるため、記録後の撮影可能枚数が減らない、または２枚分減る場合があります。

画像サイズ	クオリティ	SDカードの容量						
		8MB	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB
3M ※ 2048X1536 ピクセル	★★★	5	12	25	50	102	198	419
	★★	8	18	37	75	153	298	628
	★	16	36	75	151	307	596	1257
2M 1600X1200 ピクセル	★★★	6	15	31	62	127	248	523
	★★	10	22	47	94	191	372	785
	★	20	45	94	188	383	745	1571
1.2M 1280X960 ピクセル	★★★	11	25	52	104	213	414	873
	★★	17	37	78	157	319	621	1309
	★	34	75	157	314	639	1243	2619
0.8M 1024X768 ピクセル	★★★	17	37	78	157	319	621	1309
	★★	25	56	118	236	479	932	1964
	★	51	112	236	472	959	1864	3929
0.3M 640X480 ピクセル	★★★	34	75	157	314	639	1243	2619
	★★	51	112	236	472	959	1864	3929
	★	102	225	473	944	1919	3729	7859

★★★ FINE、★★ NORMAL、★ BASIC

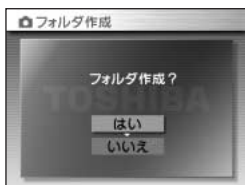
※画像サイズ 3M は、PDR-M700 のみとなります。

フォルダ作成

新しいフォルダを作成します。
撮影日付や撮影場所ごとに分けておくのに便利です。

撮影メニューから、▲▼ボタンで［フォルダ作成］を選択し、▶ボタンを押す（➪ 55ページ）

フォルダ作成画面が表示されます。

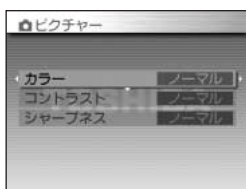
▲▼ボタンで［はい］を選択し、OK ボタンを押す

新しくフォルダが作成され、撮影メニューに戻ります。
フォルダを作成しないときは、［いいえ］を選択し、OK ボタンを押します。
撮影した画像は、新しく作成されたフォルダ内に 0001 番から記録されます。

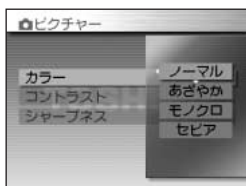
ピクチャー

撮影する画像の色、タッチ、明暗の差を設定します。

1 撮影メニューから、▲▼ボタンで［ピクチャー］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 55 ページ）

ピクチャー設定画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで［カラー］、［コントラスト］、［シャープネス］のいずれかを選択し、▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。

4 ◀ ボタンを押す

撮影メニューに戻ります。

■ カラー

撮影する画像の色を設定します。

［ノーマル］：カラー
［あざやか］：ややあざやかなカラー
［モノクロ］：白黒
［セピア］　：セピア

■ コントラスト

撮影する画像の明暗の差を設定します。

［ノーマル］：自動設定
［ハード］　：明暗の差を大きくする
［ソフト］　：明暗の差を小さくする

■ シャープネス

撮影する画像のタッチを設定します。

［ノーマル］：普通のタッチ
［ハード］　：かたいタッチ
［ソフト］　：やわらかいタッチ

表示設定

画面の表示を設定します。

■ 撮影プレビュー

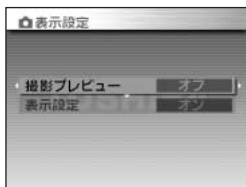
撮影した画像を撮影直後に、2 秒間画面上に表示するかしないかを設定します。
撮影した画像の構図や明るさを確認するのに有効です。
動画撮影時は、設定できません。
プレビュー中にシャッターボタンを半押しすると、プレビューが解除されます。
AEB 撮影時、連写撮影時は、撮影した枚数分の画像を約 2 秒ずつ表示します。
「露出をずらして撮影する」➡ 51 ページ
「高速連写、通常連写」➡ 50 ページ

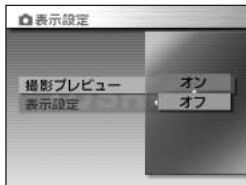
■ 表示設定

画面に、フラッシュ、露出など、撮影時の設定内容を詳細表示にするか、簡易表示にするかを設定します。

1 撮影メニューから、▲▼ボタンで［表示設定］を選択し、▶ボタンを押す（➡ 55 ページ）

表示設定画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで［撮影プレビュー］または［表示設定］を選択し、▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。

■ 撮影プレビュー
［オン］：表示する
［オフ］：表示しない

■ 表示設定
［オート］：撮影タブメニューを表示しない
（設定内容変更時は 3 秒間表示）
［オン］　：撮影タブメニューを表示する

4 ◀ ボタンを押す

撮影メニューに戻ります。

液晶の明るさ

液晶モニター、電子ビューファインダーの明るさを、それぞれ個別に設定できます。
現在選択されている方の液晶の明るさを調節します。

1 撮影メニューから、▲▼ボタンで［液晶の明るさ］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 55ページ）

液晶の明るさ設定画面が表示されます。

2 ◀ ▶ボタンで明るさを調節する

◀ボタンで暗く、▶ボタンで明るくなります。
11 段階で調節できます。

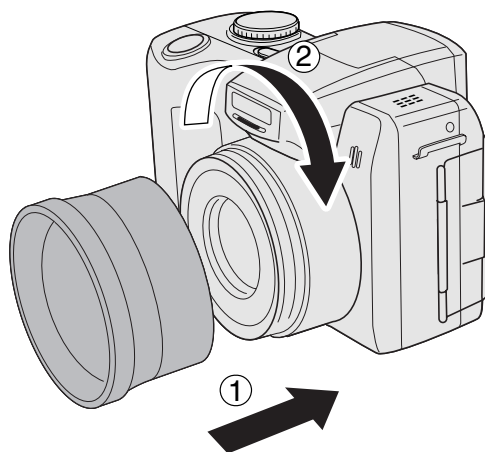
3 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

アダプターリングについて

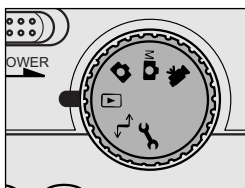
市販のレンズフード、コンバージョンレンズ、フィルターなどをご使用になりたい場合は、アダプターリングを取り付けてください。
レンズ取り付けのネジ切りは52mmです。レンズフード、コンバージョンレンズ、フィルターは、52mmのものをご使用ください。

● 準備
アダプターリングを取り付ける前に、カメラの電源を切ってください。

アダプターリング取り付け部に、付属のアダプターリングを取り付ける

再生する

再生する

撮影した静止画を 1 画像ずつ再生します。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせて、電源を入れる

最後の画像が画面に表示されます。
画面が明るすぎる、または暗すぎる場合は、明るさを調節してください。
「液晶の明るさ」➡ 61 ページ

2 ▶ボタンを押し、順送り（◀ ボタンは逆送り）する

◀ ▶ボタンを押したままにしておくと、次の画像を続けて再生できます。
OK ボタンを押すと、サムネイル表示（➡ 66 ページ）になります。
マルチで撮影（➡ 31 ページ）された画像は、Tele ボタンを押すと、簡易動画再生（16 コマ続けて自動再生）できます。ただし、リサイズ（➡ 72 ページ）した画像は簡易動画再生できません。
リモコンを使用する場合は、リモコンの◁ ▷ボタンを押して、順送り／逆送りします。

- 画像再生中に、▲▼ボタンを押すごとに、90度ずつ回転表示します。▼ボタンで画像が時計回りに回転表示し、▲ボタンで画像が反時計回りに回転表示します。動画再生中は、回転表示できません。
- 画像再生中、複数のフォルダが存在していても、◀ ▶ボタンを押すことで、すべてのフォルダの画像を再生できます。
- 最後の画像が表示されている状態で ▶ボタンを押すと最初の画像が表示され、最初の画像が表示されている状態で◀ ボタンを押すと最後の画像が表示されます。

再生時の液晶モニター／電子ビューファインダーの表示

表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

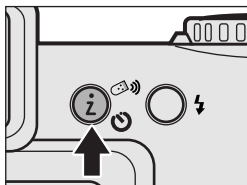
- DISPボタンを押すごとに、液晶モニター表示と電子ビューファインダー表示が切り替わります。

画像情報を表示する

画像再生時の情報表示の状態を切り替えることができます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

2 ◀▶ボタンで画像を選択する

3 *i* インフォボタンを押す

インフォボタンを押すごとに、情報表示の状態が次の順番で切り替わります。

標準	：通常の再生時の状態 （再生メニューの「表示設定」に設定されている状態） 「表示設定」➪ 78ページ
非表示	：画像情報を非表示にする
詳細表示	：画像の詳細情報を表示する
ヒストグラム	：画像の明るさの分布を表すグラフを表示する 縦軸が画素数、横軸が明るさ示す

メモ
- サムネイル表示中、拡大表示中、動画再生中は、標準と非表示の切り替えになります。

画像を一覧表示（サムネイル表示）する

画面に、縮小した画像を一覧表示します。一覧できる画像は、一度に９画像までです。本書では、縮小して一覧表示することをサムネイル表示とよびます。
撮影した画像の数が多いときなど、目的の画像を選択するのに便利です。

モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最後の画像が画面に表示されます。

2 OK ボタンまたは Wide ボタンを押す

* サムネイル表示で動画データが存在する場合、［ 🎥 ］が表示されます。

画像がサムネイル表示されます。
▲▼◀▶ボタンで選択された画像は、緑の枠で囲まれます。
▲▼◀▶ボタンを押し続けると、緑の枠が早く移動します。
画像が10画像以上ある場合は、▲▼ボタンで画面をスクロールしてください。

- サムネイル表示中、複数のフォルダが存在していても、▲▼◀▶ボタンを押すことで、すべてのフォルダの画像をサムネイル表示できます。

■ 選択したサムネイル画像を通常の大きさで表示するには

▲▼◀▶ボタンで画像を選択し、OK ボタンまたは Tele ボタンを押すと、選択した画像が通常の大きさで表示されます。

画像を拡大表示する

再生中の画像を２段階に拡大して表示します。１画像ずつ再生しているときに拡大表示できます。
マルチで撮影（➡ 31 ページ）した画像や動画は拡大表示できません。

1 モードダイヤルを ［ ▶ ］ に合わせる

最後の画像が画面に表示されます。

2 拡大したい画像を◀ ▶ボタンで選択する

サムネイル表示（➡ 66 ページ）からでも選択できます。

3 Tele ボタンを押す

画像全体

画像が一段階拡大表示されます。
画像が拡大表示されると、画面に白い枠と緑の枠が表示されます。
白い枠は画像全体、緑の枠は現在画面に拡大表示されている位置を示します。
Teleボタンを押すと、さらに1段階拡大表示されます。
Wide ボタンを押すと、１段階縮小表示されます。
▲▼◀ ▶ボタンを押すと、拡大表示する位置を移動できます。画面に表示される枠の位置を見ながら、調節してください。
Tele ／ Wide ボタンを押すごとに、画面が次の順番で切り替わります。

■ 通常の大きさに戻すには

通常表示に戻すときは、OK ボタンを押してください。

動画を再生する

撮影した動画を再生します。音声も再生されます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

最後の画像が画面に表示されます。
画面が明るすぎる、または暗すぎる場合は、明るさを調節してください。
「液晶の明るさ」⇨ 61ページ

2 ◀▶ボタンで再生したい動画を選択する

サムネイル表示（⇨ 66ページ）からでも選択できます。
リモコンを使用する場合は、リモコンの◁ ▷ボタンで選択します。

3 ▲ ボタンを押す

トータル時間

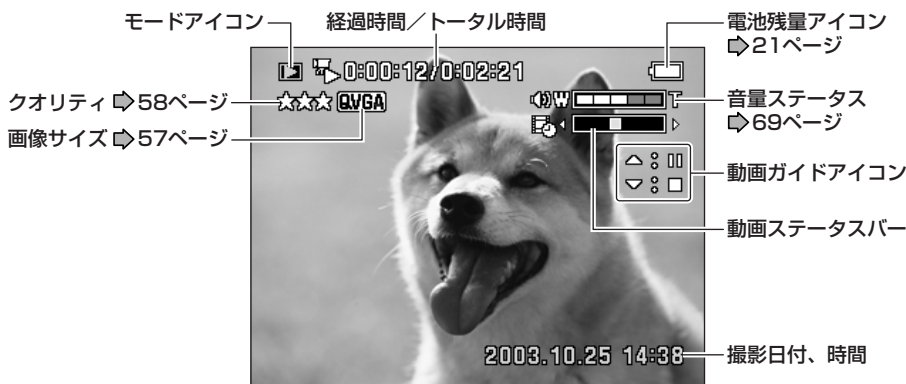
選択した動画が再生されます。
再生中に◀ ボタンを押すと逆再生、▶／◀ ボタンを押すと、8段階に速度を切り替えて、早送り再生／早戻し再生できます。
リモコン使用時も同様です。

メモ
- 動画は回転表示、拡大表示できません。

動画再生時の液晶モニター／電子ビューファインダーの表示

表示される文字、数字、アイコンなどは設定されている内容によって異なります。

- DISPボタンを押すごとに､液晶モニター表示と電子ビューファインダー表示が切り替わります。

はじめに / 準備する / 撮影する / 再生する / 消去する / パソコンに接続する / その他 / 付録

■ 動画の再生を止めるには

▼ボタンを押します。
再生を停止して、動画の先頭に戻ります。

■ 動画の再生を一時停止するには

▲ボタンを押します。
再生を一時停止します。
一時停止を解除するには、もう一度▲ボタンを押します。

- 一時停止中に ▶／◀ ボタンを押すと、押すたびにコマ送り／逆コマ送りされます。
- 一時停止中に ▶／◀ ボタンを押し続けると、押している間だけコマ送り／逆コマ送りし続けます。

■ 音量を調節するには

Tele ボタンまたは Wide ボタンで音量を調節します。
Tele ボタンを押すごとに、音量が大きくなります。
Wide ボタンを押すごとに、音量が小さくなります。

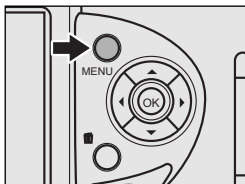
■ ボタンを押したときの動作

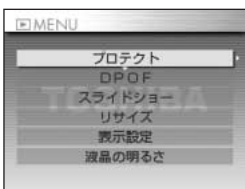
	再生中	早送り再生中	一時停止中	停止中
▶ボタン	早送り再生 ▶ボタンを押すごとに、2倍、4倍、8倍、16倍、32倍、64倍、128倍、256倍と速度が上がります。	スピードアップ 早戻し再生中は、▶ボタンを押すごとにスピードダウンします。	コマ送り ▶ボタンを押すごとにコマ送りされます。 ▶ボタンを押し続けると、コマ送りし続けます。	次の画像
◀ボタン	逆再生／早戻し再生 ◀ボタンを押すごとに、2倍、4倍、8倍、16倍、32倍、64倍、128倍、256倍と速度が上がります。	スピードダウン 早戻し再生中は、◀ボタンを押すごとにスピードアップします。	逆コマ送り ◀ボタンを押すごとに逆コマ送りされます。 ◀ボタンを押し続けると、逆コマ送りし続けます。	前の画像
▲ボタン	一時停止		再生	
▼ボタン	停止 動画の先頭に戻ります。			
OKボタン	動作しません。	通常速度の再生に戻ります。	動作しません。	サムネイル表示
Teleボタン	音量が大きくなります。			
Wideボタン	音量が小さくなります。			

再生メニューの設定を変更する

再生モードのとき（[▶]）に、どのような設定で再生するかを設定します。
設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせる

2 MENU ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンで設定項目を選択し、▶ボタンを押す

選択した項目の設定画面が表示されます。

プロテクト	➡ 76 ページ
DPOF	➡ 73 ページ
スライドショー	➡ 71 ページ
リサイズ	➡ 72 ページ
表示設定	➡ 78 ページ
液晶の明るさ	➡ 61 ページ

4 設定画面で目的の項目を設定する

設定が終了すると再生メニューに戻ります。

5 再生メニューを終了するときは、MENU ボタンを押す

再生状態になります。

- SDカードがロック状態のとき、プロテクト、DPOF、リサイズは設定できません。

プロテクト

画像をあやまって消去しないように、読み出し専用データにします。
「画像をプロテクトする」➡ 76ページ

DPOF

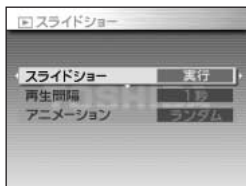
プリント（現像）したい画像に、枚数指定や日付表示をDPOF形式（➡ 用語 117ページ）で設定します（静止画のみ）。SD カードをお店に持って行くだけで、簡単にプリントできます。
「DPOFを設定する」➡ 73ページ

スライドショー

静止画、および動画を 1 画像ずつ順番に自動再生します。

1 再生メニューから、▲▼ボタンで［スライドショー］を選択し、▶ボタンを押す（➡ 70ページ）

スライドショー設定画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで［再生間隔］または［アニメーション］を選択し、▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。

4 ▲ボタンで［スライドショー］を選択し、▶ボタンを押す

スライドショーを実行します。
スライドショーを止めるときは▼ボタンを押します。
スライドショーは▼ボタンを押すまで繰り返されます。
画面には▼ボタンを押したときの画像が表示されます。

- ▲ボタンを押すと、自動再生を一時停止できます。もう一度▲ボタンを押すと、自動再生を再開します。
- 自動再生中、オートパワーオフは、はたらきません。
- すべてのフォルダの画像が自動再生されます。
- 動画は、1 コマ目のみ再生されます。

リサイズ

画像サイズを320 × 240ピクセル、または160 × 120ピクセルに変更し、別画像として新たに作成します。メール添付などに活用すると便利です。

- 次の画像はリサイズできません。
  - ・このカメラ以外で撮影した画像
  - ・動画
  - ・SDカードがロック状態の場合
  - ・リサイズで作成された画像

1 再生メニューから、▲▼ボタンで［リサイズ］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 70ページ）

リサイズ設定画面が表示されます。リサイズできる画像がない場合、動画が対象になっている場合は、メッセージが表示された後、再生メニューに戻ります。

2 ◀▶ボタンで画像を選択し、OKボタンでサイズを設定する

リサイズできる画像の下にはアイコンが表示されます。OKボタンを押すごとに、次のようにアイコンが切り替わります。

［▪］320 × 240 →［▫］160 × 120 → OFF

リサイズしたい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。

3 ▲▼ボタンで［実行］を選択し、OK ボタンを押す

リサイズが実行され、再生メニューに戻ります。
リサイズしない場合は、［キャンセル］を選択し、OK ボタンを押します。

- 複数のフォルダが存在していても、◀▶ボタンを押すことで、すべてのフォルダの画像を選択できます。
- 画像を画面いっぱいに表示して確認したいときは、Tele ボタンを押します。元の画面に戻るには、Wide ボタンを押します。

表示設定

画面に表示される画像情報を選択して、表示／非表示を設定できます。
「表示する画像情報を設定する（表示設定）」⇨ 78ページ

液晶の明るさ

画面の明るさを調節します。記録された画像の明るさを調節するものではありません。
「液晶の明るさ」⇨ 61ページ

DPOF を設定する

プリント（現像）したい画像に、枚数指定や日付表示をDPOF形式（➡ 用語 117ページ）で設定します（静止画のみ）。SDカードをお店に持って行くだけで、簡単にプリントできます。
DPOF対応プリンターであれば、ご家庭でもプリントできます。

DPOF を設定する

1 再生メニューから、▲▼ボタンで［DPOF］を選択し、▶ボタンを押す（➡ 70ページ）

DPOF設定画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで［画像選択］を選択し、▶ボタンを押す

3 ▲▼ボタンで［個別選択］または［全選択］を選択し、▶ボタンを押す

［個別選択］：1画像ずつ設定します。
［全選択］　：一度にすべての画像を設定します。

4 ◀▶ボタンで画像を選択し、▲▼ボタンで枚数を設定する

枚数は1画像につき最大99枚まで設定できます。

はじめに
準備する
撮影する
再生する
消去する
パソコンに接続する
その他
付録

5 OK ボタンを押す

日付設定画面が表示されます。
画像の日付は写真の右下隅にプリントされます。

6 ▲▼ボタンで［はい］を選択し、OK ボタンを押す

7 ▲▼ボタンで［実行］を選択し、OK ボタンを押す

DPOF情報のファイルが作成され、終了すると再生メニューに戻ります。
設定を続ける場合は［再設定］、DPOF ファイルを作成せずに終了する場合は［キャンセル］を選択し、OK ボタンを押します。

メモ

- 複数のフォルダが存在していても、◀▶ボタンを押すことで、すべてのフォルダの画像を選択できます。
- 画像を画面いっぱいに表示して確認したいときは、Tele ボタンを押します。元の画面に戻るには、Wide ボタンを押します。
- 写真にプリントする日付は、カメラに設定された日付によります。正しい日付を写真にプリントするためには、画像を撮影する前にカメラの日付設定をチェックしてください。
  「日時設定」➪ 103ページ
- プリンターの種類によっては、DPOFに対応していない場合もありますので、ご注意ください。

DPOFの設定を確認する

1 **DPOF設定画面から、▲▼ボタンで[設定確認]を選択し、▶ボタンを押す**

設定を確認します。

2 **OKボタンを押す**

DPOF設定画面に戻ります。

3 **◀ボタンを押す**

再生メニューに戻ります。

DPOFの設定を解除する

1 **DPOF設定画面から、▲▼ボタンで［オールクリア］を選択し、▶ボタンを押す**

［現在の設定を全てクリアーします］と表示されます。

2 **▲▼ボタンで［実行］を選択し、OKボタンを押す**

［全てのプロテクトを解除しますか？］と表示されます。

3 **▲▼ボタンで［実行］を選択し、OKボタンを押す**

DPOF設定画面に戻ります。

4 **◀ボタンを押す**

再生メニューに戻ります。

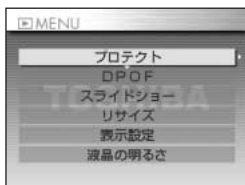
- 指定できるプリント枚数は、1画像につき99枚までです。また、同一SDカード内でプリント指定できる画像数は、999画像までです。ただし、同一SDカード内で指定できる最大プリント数は9,999枚までに制限されます。
- SDカードにすでにDPOF情報ファイルがあるとき、[ファイルを作成し直しますか？]のメッセージが表示される場合があります。[はい]を選択すると、ファイルは上書きされ、既存の情報は消去されますので、ご注意ください。また、パソコン上でDPOF情報ファイルを上書きし、このカメラに対応していない値が設定されていた場合も同様です。

画像をプロテクトする

画像をあやまって消去しないように、読み出し専用データにします。このことをプロテクトといいます。

- SDカードのフォーマットを行うと、プロテクトは無効になり、画像はすべて消去されます。
- SDカード全体をプロテクトするには、「誤消去防止について」（➡ 15ページ）をご覧ください。

プロテクトする

1 再生メニューから、▲▼ボタンで［プロテクト］を選択し、▶ボタンを押す（➡ 70ページ）

プロテクト設定画面が表示されます。

2 ◀▶ボタンでプロテクトする画像を選択し、OKボタンを押す

プロテクトする画像の下に［ 0┳ ］が表示されます。
プロテクトを解除したいときは、もう一度OKボタンを押します。
プロテクトしたい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。

3 ▲▼ボタンで［実行］を選択し、OKボタンを押す

プロテクトが実行され、再生メニューに戻ります。
プロテクトしない場合は、［キャンセル］を選択し、OKボタンを押します。

- 複数のフォルダが存在していても、◀▶ボタンを押すことで、すべてのフォルダの画像を選択できます。
- 画像を画面いっぱいに表示して確認したいときは、Teleボタンを押します。元の画面に戻るには、Wideボタンを押します。
- もう一度、プロテクト設定画面を表示すると、すでにプロテクトされている画像の下には［ 0┳ ］が表示されます。

プロテクトを解除する

1 再生メニューから、▲▼ボタンで [プロテクト] を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 70 ページ）

プロテクト設定画面が表示されます。

2 ◀▶ボタンで解除する画像を選択し、OK ボタンを押す

プロテクトを解除する画像の下の［ ］が［ ］になります。
解除を取り消したいときは、もう一度OKボタンを押します。
解除したい画像が複数ある場合は、この手順を繰り返します。

3 ▲▼ボタンで［実行］を選択し、OK ボタンを押す

プロテクトの解除が実行され、再生メニューに戻ります。
プロテクトを解除しない場合は、[キャンセル] を選択し、OKボタンを押します。

メモ

- 複数のフォルダが存在していても、◀▶ボタンを押すことで、すべてのフォルダの画像を選択できます。
- DPOF形式で設定された画像には、［ ］が表示され、プロテクト解除できません。解除するときは、DPOF 形式の設定を解除します。
「DPOFの設定を解除する」⇨ 75ページ

表示する画像情報を設定する（表示設定）

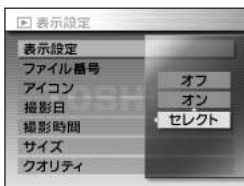
画面に表示される画像情報の表示／非表示を設定できます。
ビデオや DVD に録画するときに便利です。

1 再生メニューから、▲▼ボタンで［表示設定］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 70 ページ）

表示設定画面が表示されます。

2 ▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

3 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が保存されます。

［オフ］　　：画像情報をすべて非表示にする
［オン］　　：画像情報をすべて表示する
［セレクト］：画像情報の表示／非表示を項目ごとに設定する

［セレクト］を選択した場合は、手順４に進んでください。
［セレクト］以外を選択した場合は、◀ ボタンを押して、再生メニューに戻ります。

4 ▲▼ボタンで設定項目を選択し、▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

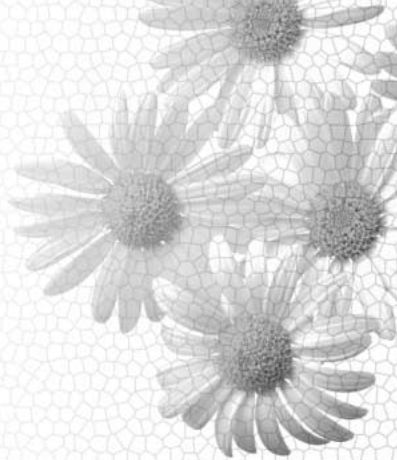
［ファイル番号］：画像のフォルダとファイル番号、動画の経過時間と総時間
［アイコン］　　：モードアイコン、電池残量アイコン、動画アイコン、動画ステータスバー、動画ガイドアイコン、動画音量ステータス
［撮影日］　　　：撮影時の日付
［撮影時間］　　：撮影時の時間
［サイズ］　　　：撮影時の画像サイズ
［クオリティ］　：撮影時の画質

5 ▲▼ボタンで［オン］または［オフ］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。

6 手順４から手順５を繰り返し、項目をすべて設定したら、◀ ボタンを押す

再生メニューに戻ります。

メモ
- 設定内容は、スライドショーにも反映されます。

消去する

画像を消去する

画像を消去します。ただし、プロテクトされている画像（➡ 76 ページ）や、SD カードがロック状態（➡ 15 ページ）の場合は消去できません。
消去した画像は、元に戻せませんのでご注意ください。

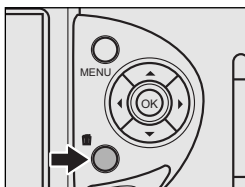
1 画像消去

画像を 1 つずつ消去します。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2 ［ ▶ ］の場合、◀▶ボタンで消去したい画像を選択する

［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］の場合は、最後の画像が消去対象となります。

3 🗑 消去ボタンを押す

画面に［ 🗑 ］とメニューが表示されます。

4 ◀▶ボタンで［ 🗋 ］を選択し、OK ボタンを押す

［消去しますか？］のメッセージが表示されます。

5 ▲▼ボタンで［はい］を選択し、OK ボタンを押す

画像が消去され、それぞれのモードに戻ります。
消去しない場合は［いいえ］を選択し、OK ボタンを押します。
画面に［プロテクトされています］が表示されたときは、プロテクトを解除（➡ 77 ページ）、または DPOF 設定を解除（➡ 75 ページ）してください。

6 続けて画像を消去する場合は、手順 2 から手順 5 の操作を繰り返す

- 消去後に撮影しても、消去前に最後に割り当てられた番号の次から連続番号でファイル番号が割り当てられます。
- サムネイル表示の状態でも消去することができます。サムネイル表示の場合、いったん 1 画像の再生状態（1 コマ再生）になり、消去後、サムネイル表示に戻ります。

全画像消去

SD カードに記録されている画像をすべて消去します。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2

画面に［ 🗑 ］とメニューが表示されます。

3 ◀▶ボタンで［ 🗀 ］を選択し、OK ボタンを押す

［消去しますか？］のメッセージが表示されます。

4

［本当によろしいですか？］のメッセージが表示されます。

5 ▲▼ボタンで［はい］を選択し、OK ボタンを押す

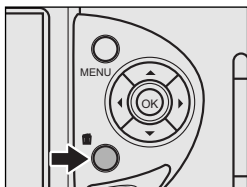
プロテクトされている画像を除いて、SDカードに記録されていた画像がすべて消去され、それぞれのモードに戻ります。
消去しない場合は［いいえ］を選択し、OK ボタンを押します。

SD カードをフォーマットする

SDカードに記録されている画像やフォルダをすべて消去します。SDカードがロック状態（➪ 15 ページ）の場合はフォーマットできません。

重要
- SD カードのフォーマットは、必ずこのカメラで行なってください。
- SDカードをフォーマットすると、プロテクトされている画像（➪ 76ページ）も消去されます。また、画像以外のデータもすべて消去されます。フォーマットする前に、必ずご確認ください。
- SD カードに異常がある場合は、正常にフォーマットできません。
- SDカードを初めて使うときは、その前に必ずフォーマットしてください。また、SDカードは最大容量を保つように、定期的にフォーマットして雑多なファイルを取り除くことをおすすめします。

1 モードダイヤルを［ ▶ ］［ 📷 ］［ M📷 ］［ 🎥 ］のいずれかに合わせる

2 🗑 消去ボタンを押す

画面に［ 🗑 ］とメニューが表示されます。

3 ◀ ▶ボタンで［ ▪ ］を選択し、OK ボタンを押す

［フォーマットを実行しますか？］のメッセージが表示されます。

4 ▲▼ボタンで［はい］を選択し、OK ボタンを押す

［本当によろしいですか？］のメッセージが表示されます。
フォーマットをしない場合は、［いいえ］を選択し、OK ボタンを押します。

5 ▲▼ボタンで［はい］を選択し、OK ボタンを押す

SD カードがフォーマットされます。
フォーマットが終了すると、［ファイル番号をリセットしますか？］のメッセージが表示されます。

6 ▲▼ボタンで［はい］を選択し、OK ボタンを押す

ファイル番号がリセットされ、それぞれのモードに戻ります。
ファイル番号をリセットしない場合は、［いいえ］を選択し、OKボタンを押します。

メモ
- ファイル番号をリセットしなかった場合、撮影すると、最後に割り当てられた番号の次から連続番号でファイル番号が割り当てられます。

パソコンに接続する

ソフトウェアについて

この取扱説明書では付属のソフトウェアのインストール方法と、ソフトウェアの簡単な使用方法を説明しています。詳しい使用方法は、ソフトウェアのヘルプファイルをご覧ください。
この取扱説明書はお客様がお使いのパソコンの基本的な使用方法に関する知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンの基本的な使用方法については、お使いのパソコンまたはOSの取扱説明書をご覧ください。

付属のソフトウェアについて

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。

- ACDSee™（画像閲覧ソフトウェア）
  撮影した画像をパソコンで見ることはもちろん、画像の加工や修正もできます。ACDSeeの詳しい操作方法はヘルプファイルをご覧ください。
  ACDSeeと、このカメラ以外の機器との接続は保証しておりません。このカメラ以外の機器との接続、およびACDSeeの操作に関しては、ACD Systems社のオンラインサポートにお問い合わせください。
  ACD Systems社オンラインサポート：OEM@ACDJAPAN.com
- DirectX®（動画再生ソフトウェア）
  カメラで撮影した動画ファイルが、Windows Media® Playerで再生できない場合にインストールします。
- USBドライバ（Windows 98専用）
  付属のUSBケーブルを使用して、カメラとパソコンを接続するときにインストールします。このドライバはWindows 98専用です。Windows 2000/Me/XPおよびMacintoshをお使いのお客様は、各OSの標準ドライバをご使用ください。
- サービス＆サポートファイル
  サービスおよびサポートに関する情報が記載されています。
  取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。
  「アフターサービスについて」➪ 118ページ

ソフトウェアのバージョンアップについて

本製品出荷以降、より良くお使いいただくために、カメラ内部のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
東芝デジタルスチルカメラホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することはできません。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書は、1台の機器について使用できます。
- 付属のソフトウェアおよび取扱説明書により機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 取扱説明書で記載しているパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての保証はご容赦ください。

接続するパソコンについて

パソコンとカメラを接続すると、撮影した画像をパソコンに転送して、加工したりインターネットを通じて第三者に送ったりできます。

接続するパソコンの推奨環境

カメラと接続するパソコンには、以下のシステム環境を推奨します。接続する前にお確かめください。

	Windowsをお使いの場合	Macintoshをお使いの場合
CPU	Pentium®以上のプロセッサを推奨	Power PC G3プロセッサ 266MHz以上を推奨
OS	Windows 98/2000/Me/XP プレインストールパソコン	Mac OS 9.0以上（Mac OS 9.2以上を推奨）Mac OS X 10.1以上（Mac OS 10.1.3以上を推奨）
メモリー	64MB以上	
ハードディスクの空き容量	20MB以上を推奨（画像を扱うので、十分な空き容量があることをご確認ください。）	
カラーモニター	256色、800X600ドット以上（32,000色以上を推奨）	
必要なデバイス	CD-ROMドライブ、USBポート	

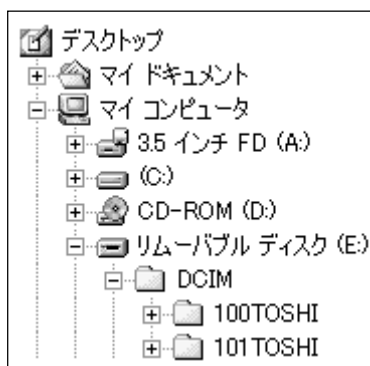
Mac OS 9.0、Mac OS 9.1 をお使いの場合、CarbonLib1.5 以上が必要です。
アップルコンピュータ株式会社のウェブサイトから入手可能です。

※すべてのパソコンとの接続を保証するものではありません。

ファイルの構造について

カメラとパソコンを接続すると、カメラで撮影した画像は、右の図のように表示されます。
（Windows で表示した場合）

[XXXTOSHI]

- 東芝のカメラで撮影した画像のフォルダを意味します。（TOSHI）
- 100～999のフォルダ番号が、状況に応じて割り当てられます。（XXX）

静止画

ファイル名は PDR_XXXX.jpg です（XXXX は 0001 ～ 9999 の数字）。
拡張子の「.jpg」は JPEG ファイル（➡ 用語 117 ページ）を意味します。
撮影した画像は Exif フォーマット（➡ 用語 117 ページ）で保存されます。

動画（音声付き）

ファイル名は PDR_XXXX.avi です（XXXX は 0001 ～ 9999 の数字）。
拡張子の「.avi」は AVI 形式（➡ 用語 117 ページ）のファイルを意味します。

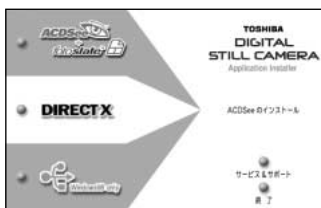
Windows パソコンで画像を見る

対応 OS は、Windows 98/2000/Me/XP です。USB ドライバのインストールは、Windows のバージョンによって異なりますので、インストールの際には十分にご確認ください。

重要
- 画像転送中にカメラの電源が切れると、データが破壊されるおそれがあります。カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプターのご使用をおすすめします。

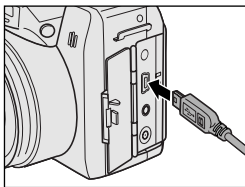
1 付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入する

表示言語を選択する画面が表示されます。

2 「日 本 語」アイコンをクリックする

3 「 」アイコンをクリックする

セットアップを開始します。
画面の指示にしたがって、ACDSee をインストールします。
インストールが完了すると、デスクトップ上に ACDSee のアイコンが表示されます。

■ Windows 98 をお使いのときは
付属の CD-ROM から「 」アイコンをクリックし、画面の指示にしたがってインストールします。

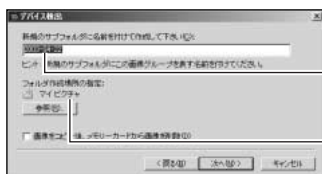
4 モードダイヤルを［ ］に合わせ、USB ケーブルを接続する

パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子に、USB ケーブルを接続します。
USB ケーブルのプラグに表示された［ ］マーク側をレンズ側に向けて接続してください。

画面の指示にしたがって各OSの標準ドライバをインストールします。
インストール終了後は、パソコンを再起動します。

パソコンが再起動すると、デバイス検出が起動します。

5 デバイス検出画面の「画像をハードドライブにコピー」と「ACDSeeを起動」をチェックし、「次へ」をクリックする

パソコンに画像をコピーせずに、閲覧するだけのときは、「画像をハードドライブにコピー」のチェックははずし、「ACDSeeを起動」だけにチェックをしておきます。

6 保存先と保存するフォルダ名を指定し、「次へ」をクリックする

画像のコピーを開始します。

コピーする画像の保存先のフォルダ名を入力します（保存先に作成されます）。

コピーする画像の保存先が表示されます（「参照」をクリックして任意の保存先を指定できます）。

画像のコピー完了後にカメラのSDカードから画像を削除するときは、「画像をコピー後、メモリーカードから画像を削除」をチェックしておきます。
画像のコピーが完了すると、ACDSeeが起動し、保存先に指定したフォルダ内の画像が表示されます。
コピーされた画像のファイル名は「日付＋3桁の数字」で表示されます。

メモ
- カメラとパソコンが接続されると、カメラは「リムーバブルディスク」としてパソコン上に表示されます。
- USBドライバがインストールされると、次からはUSBケーブルを接続するだけでパソコンがカメラを自動的に認識します。
- USBケーブルを接続するときは、端子の向きや形状に合わせて、それぞれ接続してください。
- カメラとパソコンを接続しているときは、オートパワーオフは、はたらきません。

動画を見る

ACDSee™ で表示された動画ファイル（avi ファイル）をダブルクリックする

動画再生ソフトが起動し、動画を再生します。

■ DirectX® のインストール

このカメラで撮影した動画ファイルが、Windows Media® Player で再生できない場合にインストールします。

1）付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入する

表示言語を選択する画面が表示されます。

2）「 日 本 語 」アイコンをクリックする

3）「 DIRECTX 」アイコンをクリックする

画面の指示にしたがって、DirectX をインストールします。

日付を印刷する

1 ACDSee で表示された画像から、印刷する画像を選択し、「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする

2 プリンター、印刷部数などを設定し、「印刷」をクリックする

「印刷の設定」画面が表示されます。

3 「オリジナルの日付」をチェックし、「OK」をクリックする

印刷を開始します。

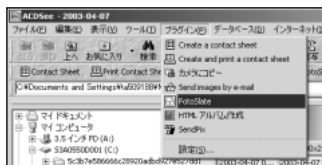
用紙のどの位置に画像を配置するか指定します。

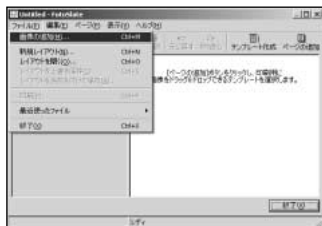
チェックされている情報が印刷されます。

「オリジナルの日付」がチェックされていると、画像の右下に日付を印刷できます。

レイアウト印刷する

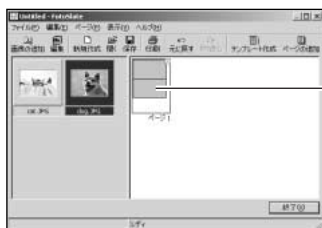
用意されたサンプルフォームを使って、用紙に複数の画像を配置したり、コメントをつけたりできます。

1 「プラグイン」メニューの「FotoSlate」をクリックする

レイアウト作成画面が表示されます。

2 「ファイル」メニューの「画像の追加」をクリックし、表示された画面から目的の画像を選択する

レイアウト作成画面の左側のエリアに、選択した画像が表示されます。

3 「ページ」メニューの「ページの追加」をクリックし、表示された「ページの追加」画面から目的のレイアウトを選択する

レイアウト作成画面の右側のエリアに、選択したサンプルフォームが表示されます。

4 画像をドラッグ＆ドロップでサンプルフォームに配置する

レイアウトに配置された画像は、ダブルクリックすると編集できます。
この画面に呼び出した画像は、元の画像からコピーされたものなので、元の画像に影響を与えることなく、編集・加工できます。

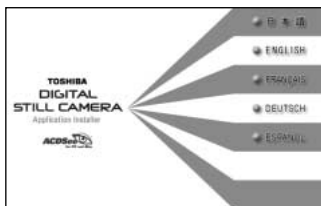
5 「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする

印刷を開始します。
作成したレイアウトを保存する場合は、「保存」をクリックします。

Macintosh パソコンで画像を見る

対応OSは、Mac OS 9.0以上です。このカメラはUSB Mass Storage Classに対応しているので、Mac OS 9.0以上では、USBドライバのインストールは必要ありません。

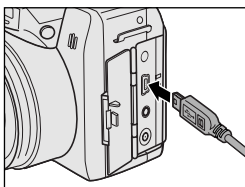
重要
- 画像転送中にカメラの電源が切れると、データが破壊されるおそれがあります。カメラをパソコンに接続するときは、ACアダプターのご使用をおすすめします。

1 付属のCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入する

表示言語を選択する画面が表示されます。

2 「 日 本 語 」アイコンをクリックする

3 「 ACDSee for PC and Mac 」アイコンをクリックする

セットアップを開始します。
画面の指示にしたがって、ACDSeeをインストールします。
インストールが完了すると、ACDSeeフォルダがハードディスクに保存されます。

4 モードダイヤルを［ ］に合わせ、USBケーブルを接続する

パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子に、USBケーブルを接続します。
USBケーブルのプラグに表示された［ ］マーク側をレンズ側に向けて接続してください。
パソコンがカメラを認識すると、ACDSee Device Detectorが起動します。

5 ACDSee Device Detector画面で画像のダウンロード先を指定し、「ACDSeeを起動」をチェックして、「ダウンロード」をクリックする

画像のコピーを開始します。
パソコンに画像をコピーするだけで、ACDSeeを起動しないときは、「ACDSeeを起動」のチェックをはずしておきます。
画像のコピー後に、カメラのSDカードから画像を削除するときは、「デバイスから画像を削除」をチェックしておきます。

メモ

- カメラとパソコンが接続されると、カメラは「名称未設定」ディスクとしてデスクトップ上に表示されます。
- USBドライバがインストールされると、次からはUSBケーブルを接続するだけでパソコンがカメラを自動的に認識します。
- USBケーブルを接続するときは、端子の向きや形状に合わせて、それぞれ接続してください。
- カメラとパソコンを接続しているときは、オートパワーオフは、はたらきません。
- 他のUSBドライブと同時に使用すると、カメラ内のSDカードがデスクトップにマウントされない場合があります。この場合は、USBの接続をカメラのみにしてご使用ください。

動画を見る

ACDSee で表示された動画ファイル（avi ファイル）をダブルクリックする

動画再生ソフトが起動し、動画を再生します。

日付を印刷する

1 「ファイル」メニューの「カスタム印刷」をクリックする

カスタム印刷画面が表示されます。

2 「イメージ」タブの「キャプチャー日付を印刷」をチェックし、「ファイルリストを印刷」をクリックする

印刷を開始します。

チェックされている情報が印刷されます。

「キャプチャー日付を印刷」がチェックされていると、画像の右下に日付を印刷できます。

選択されている画像だけ印刷するか、フォルダ内の画像をすべて印刷するかを選択します。

画像のサイズを変更する

メールに画像を添付して送る場合などのために、ACDSeeを使って画像サイズを小さくすることができます。

1 ACDSeeで表示された画像から、サイズを小さくしたい画像をクリックして選択する

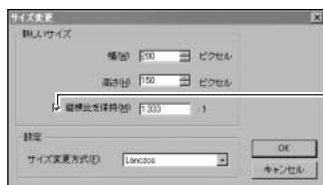
USBケーブルでパソコンとカメラを接続している場合、リムーバブルディスクとして表示されます。リムーバブルディスクを指定すれば、カメラに保存されている画像を直接選択することができます。

2 「ツール」メニューの「編集」をクリックする

編集画面が表示されます。

3 「編集」メニューの「サイズ変更」をクリックする

サイズ変更画面が表示されます。

4 「幅」と「高さ」に希望の数字を入力して「ＯＫ」をクリックする

サイズ変更された画像が表示されます。

「縦横比を保持」がチェックされていると、画像の縦横比を変えずに画像サイズの変更を行うことができます。

5 「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックする

6 ファイル名を入力し、「保存」をクリックする

サイズ変更された画像が保存されます。

重要

- カメラに保存されている画像を直接サイズ変更した場合、カメラで表示できなくなることがあります。

パソコンの画像をカメラにコピーする

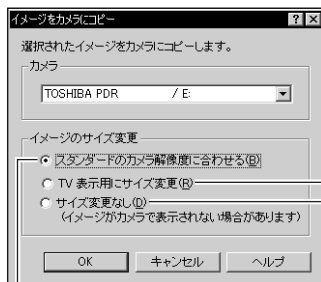
カメラで撮影した画像をパソコンで加工して、カメラに戻したり、このカメラ以外で撮影された画像もコピーできます。動画はコピーできません。

1 パソコンとカメラを USB ケーブルで接続する

ACDSee が自動的に起動します。

2 カメラにコピーしたい画像を選択し、「カメラにコピー」をクリックする

Macintosh パソコンをお使いの場合は、コピーしたい画像をコピー先のフォルダにドラッグ＆ドロップします。メッセージが表示されたら「はい」を選択します。

3 画像の変換サイズを選択し、「OK」をクリックする

XXXACDSEフォルダに、ACDSXXXX.jpg という名称で、カメラのSD カードにコピーされます。

どんなサイズの画像でも、640×480のサイズでコピーされます。

サイズ変更はしないで、そのままの大きさでコピーされます。

コピーしようとする画像サイズによって、変更されるサイズは異なります。

640×480より大きいサイズ
1024×768に変更されます。1024×768よりも小さいサイズの画像の場合は、Windowsでは周囲に黒枠が表示され、Macintoshでは拡大表示されます。

640×480以下のサイズ
640×480に変更されます。640×480よりも小さいサイズの画像の場合は、Windowsでは周囲に黒枠が表示され、Macintoshでは拡大表示されます。

- 「サイズ変更なし」を選択した場合、画像サイズによって、カメラで正常に表示できない場合があります。
- Macintoshパソコンでカメラにコピーした画像は、サムネイル表示できません。これはMacintoshパソコンのシステムによるもので、カメラの故障ではありません。
- ACDSee の詳しい説明については、ヘルプをご覧ください。
- このカメラ以外で撮影された画像をコピーした場合、表示できないことがあります。

パソコンからカメラを取りはずす

■ Windows 98 をお使いのときは

カメラの電源を切り、USB ケーブルをパソコンとカメラから取りはずします。

■ Windows 2000/Me/XP をお使いのときは

パソコンのデスクトップ上で、右下にあるタスクトレイの「 」をクリックし、メッセージにしたがって操作してください。操作が終了したら、USBケーブルをパソコンとカメラから取りはずします。

■ Macintosh をお使いのときは

デスクトップ上の「名称未設定」（カメラのフォルダ）をゴミ箱にドラッグ＆ドロップし、USB ケーブルをパソコンとカメラから取りはずします。

その他

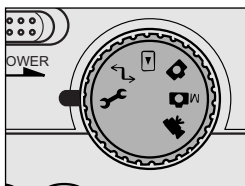
- カメラの基本設定を変更する
- カスタマイズ
- LED について
- テレビを使って撮影・再生する

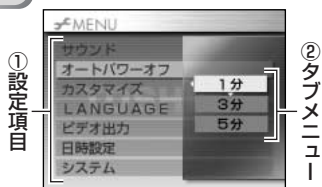
カメラの基本設定を変更する

撮影する画像に対する設定のほかに、このカメラを使用するときの環境を設定します。このことをセットアップ（SET-UP）といいます。次の項目を設定できます。

　サウンド／オートパワーオフ／カスタマイズ／LANGUAGE／ビデオ出力／日時設定／システム

ここで設定した内容は、電源を切ったり、オートパワーオフがはたらいても保持されます。

モードダイヤルを［ ］に合わせて、電源を入れる

SET-UP メニューが表示されます。

2 ▲▼ボタンで設定項目①を選択し、▶ボタンを押す

以下の設定項目では、▶ボタンを押すと、タブメニュー②が表示されます。

　オートパワーオフ ➡ 102 ページ
　LANGUAGE ➡ 102 ページ
　ビデオ出力 ➡ 103 ページ

以下の設定項目では、▶ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

　サウンド ➡ 101 ページ
　カスタマイズ ➡ 105 ページ
　日時設定 ➡ 103 ページ
　システム ➡ 104 ページ

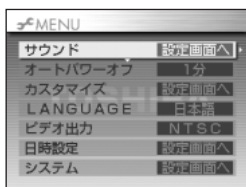
3 表示されたタブメニュー、または設定画面で目的の項目を設定する

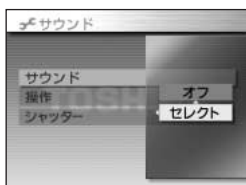
設定が終了すると、SET-UP メニューに戻ります。

4 SET-UP メニューを終了するときは、モードダイヤルを切り替える

サウンド

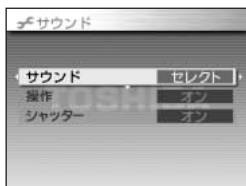
カメラを操作したときの音（効果音）を設定します。

1 SET-UP メニューから、▲▼ボタンで［サウンド］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 100ページ）

サウンド設定画面が表示されます。

2 ▶ボタンを押し、表示されたタブメニューから▲▼ボタンで［オフ］または［セレクト］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。

［オフ］　　：どの操作をしても音を鳴らさない
［セレクト］：操作の種類ごとに設定できる

［セレクト］を選択した場合は、手順３に進んでください。
［オフ］を選択した場合は、◀ ボタンを押して、SET-UP メニューに戻ります。

3 ▲▼ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

［操作］　　　：カメラの起動時、またはボタンを押すなど、操作時の音を設定する
［シャッター］：シャッターがきれたときの音を設定する

4 ▲▼ボタンで［オン］または［オフ］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。

5 手順３から手順４を繰り返し、項目をすべて設定したら、◀ ボタンを押す

SET-UP メニューに戻ります。

オートパワーオフ

一定時間、カメラを操作しなかったとき、電池の消耗を防ぐために、電源が切れます。このことをオートパワーオフといいます。ここでは、オートパワーオフになるまでの時間を設定します。スライドショー中や［ ］PCモードの場合、この機能は、はたらきません。オートパワーオフから動作の状態に戻すには、POWERスイッチで再度電源を入れます。

1 SET-UP メニューから、▲▼ボタンで［オートパワーオフ］を選択し、▶ボタンを押す（➪ 100ページ）

タブメニューが表示されます。

2 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、タブメニューが非表示になります。

［1 分］：1 分間、カメラを操作しなかったとき電源が切れる
［3 分］：3 分間、カメラを操作しなかったとき電源が切れる
［5 分］：5 分間、カメラを操作しなかったとき電源が切れる

カスタマイズ

フロントLEDの点灯状態や色、カメラ起動時の画面を設定します。
「カスタマイズ」➪ 105ページ

LANGUAGE（画面の表示言語設定）

画面に表示される言語を設定します。

1 SET-UPメニューから、▲▼ボタンで［LANGUAGE］を選択し、▶ボタンを押す（➪ 100ページ）

タブメニューが表示されます。

2 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、タブメニューが非表示になります。

［ENGLISH］：英語
［日本語］：日本語
［FRANÇAIS］：フランス語
［DEUTSCH］：ドイツ語
［ESPAÑOL］：スペイン語
［中国語簡体字］：中国語（簡体字）
［中國語繁體字］：中国語（繁体字）

ビデオ出力

カメラを接続する映像機器のビデオ出力方式に合わせて設定します。

1 SET-UP メニューから、▲▼ボタンで［ビデオ出力］を選択し、▶ボタンを押す（➪ 100ページ）

タブメニューが表示されます。

2 ▲▼ボタンで［NTSC］または［PAL］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、タブメニューが非表示になります。
［NTSC］：NTSC 方式 ➪ 用語 117 ページ
［PAL］　：PAL 方式　 ➪ 用語 117 ページ

日時設定

日付と時刻を設定します。

1 SET-UP メニューから、▲▼ボタンで［日時設定］を選択し、▶ボタンを押す（➪ 100ページ）

日時設定画面が表示されます。

2 ◀▶ボタンで項目を選択し、▲▼ボタンで値を設定する

▶ボタンを押すごとに、次の順で移動します。

年→月→日→時→分→日付書式→決定→キャンセル（→年に戻る）

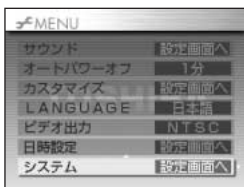
◀ ボタンでは、この逆の順で移動します。
日付書式によって、年月日の順番が変わります。

3 ◀▶ボタンで［決定］を選択し、OK ボタンを押す

SET-UP メニューに戻ります。

システム

カメラ、SD カードの情報を確認します。
また、カメラの設定内容を初期設定に戻します。

1 SET-UP メニューから、▲▼ボタンで［システム］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 100ページ）

システム画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押す

［バージョン情報］または［カード情報］を選択した場合は、情報表示画面が表示されます。［リセット］を選択した場合は、リセットを開始します。
情報の表示やリセットをしないときは、◀ ボタンを押します。

［バージョン情報］：このカメラのファームウェアの情報を表示する
［カード情報］：SD カードの使用率や空き容量情報を表示する
［リセット］：SET-UPメニューの設定を初期設定（ご購入時の設定）に戻すかどうか設定する
日時設定、ビデオ出力、LANGUAGE は変更されない

3 情報表示画面の場合は、情報を確認したら、OK ボタンを押す
リセットが終了すると［ OK ：戻る］が表示されるので、OK ボタンを押す

システム画面に戻ります。

4 ◀ ボタンを押す

SET-UP メニューに戻ります。

カスタマイズ

フロント LED の点灯状態や色、カメラ起動時の画面を設定します。

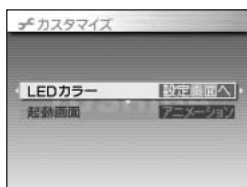
LED カラー

フロント LED の点灯状態や色を設定できます。

1 SET-UP メニューから、▲▼ボタンで［カスタマイズ］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 100 ページ）

カスタマイズ画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで［LED カラー］を選択し、▶ボタンを押す

LED カラー設定画面が表示されます。

3 ▲▼ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

［起動］　　　　　：カメラ起動時の点灯パターンを設定する
［シャッター］　　：シャッターがきれたときに点灯するかしないかを設定する
［フォーカス］　　：ピントが合ったときに点灯するかしないかを設定する
［セルフタイマー］：セルフタイマー使用時の点灯色を設定する
［スリープ］　　　：カメラがスリープモードのときの点灯色を設定する

4 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定します。

5 手順 3 から手順 4 を繰り返し、項目を全て設定したら、◀ ボタンを押す

カスタマイズ画面に戻ります。

6 ◀ ボタンを押す

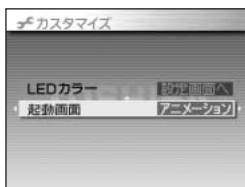
SET-UP メニューに戻ります。

起動画面

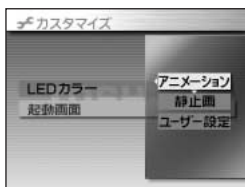
カメラの電源を入れたとき画面に表示する画像を設定できます。

1 SET-UP メニューから、▲▼ボタンで［カスタマイズ］を選択し、▶ボタンを押す（⇨ 100ページ）

カスタマイズ画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで［起動画面］を選択し、▶ボタンを押す

タブメニューが表示されます。

［アニメーション］：起動画像をアニメーションに設定する
［静止画］　　　　：起動画像を静止画に設定する
［ユーザー設定］　：起動画像を SD カードに記録されている撮影画像から選択して設定する

3 ▲▼ボタンで項目を選択し、OK ボタンを押す

［ユーザー設定］を選択した場合は、手順４に進んでください。
それ以外を選択した場合は、カスタマイズ画面に戻ります。◀ ボタンを押すと、SET-UP メニューに戻ります。

4 ◀ ▶ボタンで画像を選択し、OK ボタンを押す

選択した画像の下に［ ◉ ］が表示されます。

5 ▲▼ボタンで［実行］を選択し、OK ボタンを押す

設定が確定し、カスタマイズ画面に戻ります。
設定を取り消したいときは、［キャンセル］を選択し、OK ボタンを押します。

6 ◀ ボタンを押す

SET-UP メニューに戻ります。

LEDについて

LEDの色や点灯／点滅によって、カメラの状態を表します。

■ ファインダーLED

色	状態	撮影時	再生時	パソコン接続時
緑	点灯	AFロック成功 （手ブレ警告なし）	－	パソコン接続中
	点滅	AFロック成功 （手ブレ警告あり）	－	－
赤	点灯	SDカードアクセス中	SDカードアクセス中 DPOFファイル作成中	SDカードアクセス中
	点滅	AFロック失敗	－	－
オレンジ	点灯	撮影処理中 フラッシュ充電中 ズーム初期化中	－	パソコンに認識されていない状態など、その他の状態
	点滅	電池残量なし カメラの異常	電池残量なし	電池残量なし

■ フロントLED

フロントLEDの点灯状態や色は、自分で設定できます。

「LEDカラー」➡ 105ページ

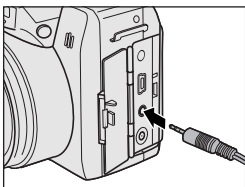
項目	条件	状態
起動*	電源を入れたとき	6色で点灯／黄色でゆっくり点滅後、青色で2回点滅 （点灯パターンはユーザー選択）
シャッター*	シャッターボタンを押したとき	マゼンタ色で点灯 （連写時、色はランダム）
フォーカス*	オートフォーカス	AFロック時点灯／点滅
セルフタイマー*	セルフタイマー動作中	点滅（色はユーザー選択）
スリープ*	スリープ状態中	ゆっくり点滅（色はユーザー選択）
電源オフ／ オートパワーオフ	電源が切れるとき	黄色で点灯
動画撮影中	撮影中	赤色で点灯
リモコン	リモコンモード	シアン色で点灯
パソコン接続中	PCモード	マゼンタ色でゆっくり点滅
エラー表示	－	黄色で点滅
スライドショー	スライドショー実行中	色はランダムで点灯
電池残量なし	－	黄色で点灯

* 印がついた項目の状態は、SET-UPメニューのカスタマイズで設定できます。

テレビを使って撮影・再生する

テレビで画像を確認しながら撮影したり、テレビで画像を再生したりできます。その場合、あらかじめカメラとテレビを接続しておきます。屋内などコンセントがある場所では、ACアダプターをご使用になることをおすすめします。

- 機器の接続を行うときは、必ずすべての接続機器の電源を切ってください。電源を入れたまま機器の接続を行うと、画面が乱れたり、正常に画像が表示されないことがあります。
- カメラを接続する映像機器のビデオ出力方式にあわせてNTSC／PAL方式を切り替えてください。
「ビデオ出力」➡ 103ページ

1 付属のAVケーブルのプラグをカメラのAV端子に接続する

カメラのAV端子にAVケーブルが接続されているとき、カメラの画面に画像は表示されません。

2 AVケーブルのプラグをテレビの映像入力端子に接続する

テレビに画像が表示されます。

3 撮影、または再生する

操作方法は撮影、再生と同じです。
「撮影する」➡ 27ページ、「再生する」➡ 63ページ

- テレビに接続しているときは、リモコンを使用すると便利です。
「リモコンで撮影する」➡ 54ページ、「再生する」➡ 64ページ
- 撮影前の画像は再生画像などと比べると、多少不鮮明になります（解像度が低くなります）。
- PAL方式のときは、画像に黒い枠がつきます。

付録

仕様
警告メッセージ
故障かな？と思ったら
Q&A
用語
アフターサービスについて
さくいん

仕様

撮像素子	1/2.7 インチ CCD センサー （総画素数　PDR-M700：約 337 万画素／ 総画素数　PDR-M500：約 214 万画素）
撮像感度	マニュアル設定：ISO70/100/200/400 相当 自動設定：ISO70/100/200/400/70〜200/70〜400 相当
レンズ	光学 10 倍ズームレンズ　F2.8 − F3.1
焦点距離	f5.8 − 58mm（35mmカメラ換算　35mm − 350mm相当）
電子ビューファインダー	実像式ズームファインダー
オートフォーカス	TTL 方式 AF 焦点調整範囲：10cm 〜∞（Wide 側） 検出方式：コントラスト検出方式（検出時フレームレート 30Hz）
測光方式	中央部重点測光、スポット測光
露出制御方式	プログラム AE、絞り優先 AE、シャッター速度優先 AE
露出補正	− 2.0EV から＋ 2.0EV（1/3EV 単位）
絞り	F2.8 − F8 自動切り替え、マニュアル切り替え可能
シャッター速度	1/2 秒〜 1/2000 秒（電子シャッター、メカニカルシャッター併用） 長時間撮影時最長 16 秒
ホワイトバランス	自動 / マニュアル設定切り替え可能（7 モード）
撮影範囲	標準：約 50cm 〜∞（Wide 側）、約 1.2m 〜∞（Tele 側） マクロ：約 10cm 〜∞（Wide 側）、約 90cm 〜∞（Tele 側）
セルフタイマー	タイマー時間 2 秒 /10 秒切り替え
フラッシュ	発光モードオート（低輝度時自動）/ 赤目軽減 / 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ 撮影範囲：約 0.5m 〜 4.4m（Tele 側、感度 ISO400）
日付・時刻	画像データに同時記録（Exif ファイルフォーマット）
自動カレンダー機能	2099 年まで自動修正
液晶モニター＊1	2.5 インチ低温ポリシリコン TFT 液晶（117,600 画素）
入出力端子	DC IN 5V 端子：DC5V DIGITAL 端子：USB（Ver.1.1、Mass Storage Class 対応） AV 端子：AV ケーブル対応 MIC（外部マイク入力）端子（φ 3.5 ミニプラグ、モノラル、出力インピーダンス 1.8kΩのマイクに適合）＊2
電源	単 3 電池 4 本（アルカリ、ニッケル水素、リチウム） CR-V3 リチウム電池パック 2 本 または別売りの AC アダプター（PDR-AC20）を使用
記録媒体	SDメモリカード　8/16/32/64/128/256/512MB対応
圧縮方式	JPEG 準拠
画像ファイルフォーマット	Exif Ver.2.2 準拠
互換ルール	DCFVer 1.0 準拠
使用環境	温度：± 0℃〜＋ 40℃（動作時）/ − 20℃〜＋ 60℃（保存時） 湿度：30%〜 80%（動作時）結露しないこと
外形寸法	109.6mm × 76.8mm × 66.0mm（幅×高さ×奥行き） 突起部を除く
質量	約 300g（付属品、電池、SD カード含まず）

＊ 1　液晶モニターは非常に高精度の技術で作られておりますが、微細な斑点が現れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。

＊ 2　この仕様に適合する外部マイクをお買い求めください。

警告メッセージ

画面には、次のような警告を表わすメッセージやアイコンが表示されます。

表　示	意　味
(電池アイコン)	電池残量が少なくなっています。
(電池アイコン)	電池残量がほとんど残っていません。
(電池アイコン)	電池残量がありません。
カードがありません	SDカードがはいっていません。
カード蓋が開いています	カードカバーが開いています。
カードチェック中	SDカードの情報を取得しています。
カードが一杯です	SDカードの空き容量がありません。
画像がありません	SDカードに画像が記録されていません。
日時設定が完了していません	日時設定が行われていません。
ライトプロテクトカードです	SDカードがロック状態になっています。
プロテクトされています	画像がプロテクトされています。
ファイル番号が一杯です	ファイル番号の上限に達しました。
カードの容量不足です	DPOFファイルを作成するための空き容量がありません。
レンズエラー	レンズの異常、またはレンズキャップが付いたままです。
カードエラー	SDカードが壊れています。
このカードは使用できません	対応していないカードがはいっています。
カードが初期化されていません	SDカードの情報が異常です。
DPOFエラーです	DPOFファイルが異常です。
(アイコン)	サポートしていない画像です。
(手ブレアイコン)	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態です。
ERROR＊＊＊	カメラに何らかの問題が生じている可能性があります。 モバイルAVセンターにご連絡ください（➡ 裏表紙）。

故障かな？と思ったら

画面に表示される警告（➡ 113ページ）、LED（➡ 108ページ）などを確認するとともに、次の項目をお調べください。

状況	原因	対処方法	ページ
電源がはいらない	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。	20
	ACアダプターの電源プラグが、コンセントからはずれている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	22
	電池を入れる向きが間違っている。	電池を正しい向きで入れてください。	20
電池の消耗が早い	温度が極端に低いところで使っている。	電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。	13
	端子が汚れている。	電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	13
	電池の寿命	新しい電池と交換してください。	20
シャッターボタンを押しても撮影できない	SDカードがはいっていない。	SDカードを入れてください。	23
	SDカードに空き容量がない。	新しいSDカードを入れてください。 撮影した画像を消去して空き容量を増やしてください。	23 82
	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。 新しいSDカードと交換してください。	15 23
	SDカードがフォーマットされていない。	SDカードをフォーマットしてください。	84
	SDカードが壊れている。	新しいSDカードを入れてください。	23
	オートパワーオフがはたらいている。	電源を入れてください。	24
フラッシュ撮影ができない	フラッシュが閉じている。	フラッシュオープンボタンを押して、フラッシュを開いてください。	34
	フラッシュが発光禁止に設定されている。	発光禁止以外の設定にしてください。	34
	フラッシュの充電中にシャッターボタンを押した。	充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	29
フラッシュが発光したのに再生画像が暗い	被写体が遠い。	被写体に近づいてください。	34
再生画像がぼやけている	レンズが汚れている。	レンズを清掃してください。	12
	撮影した画像のピントが合っていない。	被写体との距離に応じて、フォーカス設定を変更してください。	33
	手ブレ状態で撮影された。	ブレないように三脚などに固定して撮影してください。	31

状況	原因	対処方法	ページ
SDカードをフォーマットできない	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。	15
1画像消去ができない	画像がプロテクトされている。	画像のプロテクトを解除してください。	77
	SDカードがロック状態になっている。	ロック状態を解除してください。	15
	DPOF設定されている。	DPOF設定を解除してください。	75
ボタンを操作しても動作しない	モードダイヤルの設定位置がずれている。	モードダイヤルを正しい位置に設定してください。	－
液晶モニターをONにしても何も表示されない	PCモードになっている。	撮影、再生のモードにしてください。	28 38 53 64
設定した日時や内容が消えている	電池を取りはずして長時間放置した。	電池を入れて日時の設定をやり直してください。	20 25

Q&A

よくいただく質問をまとめましたので、参考にしてください。

Q シャッターボタンを押してもすぐに撮影できません。

A 半押しをしていますか？このカメラは半押しによって、フォーカスと露出を合わせます。半押しをしないでいきなりシャッターボタンを押しこむと、カメラはまず、フォーカスと露出を合わせようとします。そして適正値が見つかったところで撮影を行うので、シャッターボタンを押してから実際に撮影されるまでに時間差が発生します。

シャッターチャンスを逃さないためにも、半押しすることをおすすめします。半押しについては、「撮影する」（⇨ 28 ページ）をご覧ください。

Q 画像を修正しようとしたのですがうまくいきません。

A せっかく撮影した画像が、思っていたより明るすぎたり暗すぎたり、色が自分の好みに合っていなかったり。このような経験をお持ちの方もいらっしゃることと思います。カメラで撮影した画像は自分の好みに合わせて修正することができますが、慣れていないとなかなかうまくいかないものです。しかし、付属の画像閲覧ソフト「ACDSee」には自動修正機能が付いておりますので、どなたでも簡単に画像の修正を行うことができます。

1) ACDSee を起動します。
2) 修正したい画像を開きます。
3)「ツール」メニューの「編集」をクリックします。
   編集画面が表示されます。
4)「調整」メニューの「レベル自動調整」をクリックします。
5) 修正した画像を保存します。

※ 画像によっては、効果が少ない場合があります。
ACDSee には、「レベル自動調整」のほかにも画像修正の機能があります。
詳しくは、ACDSee のヘルプファイルをご覧ください。

用語

● AF/AE

AF（オートフォーカス）…自動でピントを合わせる機能。
AE…自動で露出（絞りやシャッター速度）を合わせる機能。
AF/AE ロック…ピントと露出を固定すること。

● AVI ファイル形式

Windows で標準となっている動画のファイル形式。

● DCF（Design rule for Camera File System）

JEITA（電子情報技術産業協会）で制定されたデジタルカメラ同士や、デジタルスチルカメラとプリンター間でデータを交換する際に必要なファイルシステムの規格。SD カードなどのメディア内に画像ファイルを記録する際の階層やファイル名などが規定されている。

● DPOF 形式（Digital Print Order Format）

プリントのための情報を直接 SD カードに書き込むための規格。この形式に対応したファイルは、DPOF 形式対応のプリンターやラボプリントサービスで簡単にプリントできる。

● Exif ファイル形式（Exchangeable Image File Format）

JEITA（電子情報技術産業協会）に承認されたデジタルスチルカメラ用のカラー静止画像フォーマット。JPEG に準拠。TIFF や JPEG と互換性があり、一般的なパソコン向け画像処理ソフトウェアで利用することができる。

● JPEG

カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式。圧縮率が選択できるが、圧縮率が高いと画質は劣化する。パソコン用のペイントソフトやインターネット上で広く使われている。

● NTSC（National Television System Committee）

日本やアメリカが採用するテレビジョン方式。

● PAL（Phase Alternation by Line）

イギリスやドイツなどの欧州の主な国が採用するテレビジョン方式。

● 赤目現象

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがある現象。これは、フラッシュの光が目の中で反射することによって起こる。

● フォーマット

SD カードの内部を、データを記録するための形にすること（初期化ともいう）。

● ホワイトバランス（白バランス）

人間の目には、照明が変化しても、白い被写体は白く見えるという順応性がある。これに対してデジタルスチルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせてバランスを調整して初めて、白い被写体が白く見える。この調整のことをホワイトバランスを合わせるという。

● 露出補正

画面の中にきわめて明るいものや暗いものがあるとき、カメラが自動的に明るさを調節するため、目的の被写体が暗くなったり、明るくなったりする。これを補正すること。

アフターサービスについて

保証書

保証書はお買い上げいただいたお店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは、まず取扱説明書をご覧になりながらお調べください。
「故障かな？と思ったら」 ➪ 114ページ
それでも調子が悪いときは、お買い上げいただいたお店、または裏表紙の「モバイル AV サポートセンター」にご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品について

- 当社は、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは次のことをお知らせください

- 形名 PDR-M700 または PDR-M500
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご購入年月日（保証書をご覧ください）
- お名前
- ご住所
- 電話番号

付属の CD-ROM の中に、サービスおよびサポートに関する情報（取扱説明書の裏表紙の内容）が書かれたファイルが収録されています。取扱説明書を紛失されたときなどのために、お使いのパソコンにファイルを保存されることをおすすめします。
ファイルを開くには、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れて言語選択画面で「日本語」をクリックしたあと、「サービス＆サポート」をクリックしてください。

さくいん

東芝製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
お買い上げの販売店にお申し付けください。

【ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合は】
『東芝家電修理ご相談センター』：**0120-1048-41**（フリーダイヤル）
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
電話受付 ： 365日・24時間受付

【デジタルスチルカメラに関するお問い合わせ】
使い方、故障、アプリケーションソフトなど
『モバイルAVサポートセンター』
電話番号：0570-05-7000
FAX : 03-3258-0470
受付時間 ： 月～土 10:00～20:00（祝祭日、年末年始を除く）

インターネットで情報を．．．
ホームページからサービス・サポートを含む最新情報の発信をしています。
ぜひ、私たちのホームページへアクセスしてください。
ホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。
このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ
（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社
映像システム事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号
※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください

付属のソフトウェア“ACDSee”に関するお問い合わせ
ACD Systems社オンラインサポート：OEM@ACDJAPAN.com

M700-MJ01